

官報

號外 昭和二十一年九月四日

○第九十回 衆議院議事速記録第三十九號

昭和二十一年九月三日(火曜日)

午後一時三十分開議

議事日程 第三十八號

昭和二十一年九月三日

午後一時開議

- 第一 臨時物資需給調整法案(政府提出) 第一讀會(前會の續)
- 第二 商工協同組合法案(政府提出) 第一讀會

〔朗讀ヲ省略シタ報告〕

一、議員カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアル

少年法改正に關する建議案

提出者

地崎宇三郎君 犬養 健君

田中 萬逸君 成島 勇君

林 連君

勤勞青年ノ教育振興ニ關スル建議案

提出者 佐伯 忠義君

八幡濱港修築工事速成ニ關スル建議案

提出者

高橋 英吉君 安平 鹿一君

藥師神岩太郎君 林田 哲雄君

馬越 晃君 關谷 勝利君

稻本 早苗君 布 利秋君

八幡濱驛ヨリ三瓶町經由卯之町間省營自動車運行實現ニ關スル建議案

提出者

高橋 英吉君 安平 鹿一君

藥師神岩太郎君 林田 哲雄君

馬越 晃君 關谷 勝利君

稻本 早苗君 布 利秋君

八幡濱驛ヨリ三瓶町經由卯之町間省營自動車運行實現ニ關スル建議案

提出者

高橋 英吉君 安平 鹿一君

藥師神岩太郎君 林田 哲雄君
馬越 晃君 關谷 勝利君
稻本 早苗君 布 利秋君
八幡濱港鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者

高橋 英吉君 安平 鹿一君

藥師神岩太郎君 林田 哲雄君

馬越 晃君 關谷 勝利君

稻本 早苗君 布 利秋君

八幡濱市、三崎村間省營自動車運行實現ニ關スル建議案

提出者

高橋 英吉君 安平 鹿一君

藥師神岩太郎君 林田 哲雄君

馬越 晃君 關谷 勝利君

布 利秋君

雪國開拓農民の副業及び家屋の緊急措置に關する建議案

提出者

圖司 安正君 大久保傳藏君

石黒 武重君 山本 武夫君

北陸線柳ヶ瀬、今庄間ノ隧道電化改良ニ關スル建議案

提出者

今井 はつ君 青木清左門君

奥村又十郎君 坪川 信三君

堂森 芳夫君

高知、宇佐、須崎ヲ結ブ鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者

佐竹 晴記君 氏原 一郎君

寺尾 豊君

飼料政策確立ニ關スル建議案

提出者

永井勝次郎君 佐伯 忠義君

宮村 又八君 鈴木周次郎君

野澤 勝君 小川原政信君

松本六太郎君 岡田 勢一君

福田 繁芳君

都道府縣市町村に於ける讀書施設の普及徹底に關する建議案

提出者

今井 はつ君

(以上九月二日提出)

一、去三十一日委員長理事互選ノ結果

次ノ通り當選シタ

地方競馬法案(小笠原八十美君外四名提出) 委員

委員長 連澤 清吉君

理事

厚東 常吉君 鈴木 仙八君

五坪 茂雄君 金井 芳次君

一、昨二日特別委員長理事補選ノ結果

果次ノ通り當選シタ

地方競馬法案(小笠原八十美君外四名提出) 委員

委員長 小川原政信君

理事

(理事厚東常吉君昨二日委員辭任ニ付其ノ補闕)

一、昨二日次ノ通り特別委員ノ異動ガ

アツタ

復興金融庫法案(政府提出) 委員

辭任松川 昌藏君 補闕高橋 泰雄君

地方競馬法案(小笠原八十美君外四名提出) 委員

辭任厚東 常吉君 補闕小川原政信君

辭任香川 兼吉君 補闕松本六太郎君

〇議長(山崎猛君) 是ヨリ會議ヲ開キ

マス、日程第一、臨時物資需給調整法案ノ第一讀會ノ前會ノ議事ヲ繼續致シ

マス、質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス。田中源三郎君

第一 臨時物資需給調整法案(政府提出) 第一讀會(前會の續)

府提出) 第一讀會(前會の續)

〇田中源三郎君 只今上程中ノ法案ニ

對シマシテ、總理大臣並ニ經濟安定本部長官、商工大臣、厚生大臣、關係閣僚ニ質疑ヲ致サントスルモノデアリマス

質疑ノ第一點ハ、本法案ハ強力ナル國家權力ト命令權トヲ持ツ委任立法デアリマシテ、私ハ聊カ現行憲法ニ抵触ヲ致スノデハナイカト云フ疑ヒヲ持ツモノデアリマス、隨テ私ノ私見ヲ交ヘ

ツ、總理大臣並ニ關係閣僚ニ質疑ヲ致シタイト思フノデアリマス、元來本法案ハ商工省所管トシテ提出サレテ居リマス、併シ商工省ノ所管トシテ之ヲ提出致スベキ手續上ノモノカ否カト云フコトヲ考ヘテ見マスルナラバ、當然是ハ經濟安定本部、即チ内閣ガ提出致スベキ手續ヲ執ルモノデアラウト考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ法案ノ内容ヲ見マスルト、經濟安定本部總裁ガ我が國産業ノ回復及ビ振興ニ關シ定メタル基本的ナ政策及ビ計畫ノ實

施ヲ確保スル爲ノ法律デアリマス、而シテ最も強力ナル國家權力ト命令權トヲ有スル法案デアリマス、之ヲ大キク考ヘテ見マスルナラバ、曾テノ戰時立法デアリマシタ國家總動員法ト變リノナイモノト考ヘラレルノデゴザイマス、申スマデモナク本法案ハ商工省所管トシテ提出サレテ居リマスガ、先程申上ゲマシタ通りニ、提出ノ手續ノ上ニ於キマシテモ、私ハ内閣所管デアルト考ヘルノデアリマス、尤モ戰後ノ日本ノ重要ナル國家經濟ノ再建ニ關シマシテハ、經濟安定本部ノ總裁ガ自ら本法案ノ立法ノ趣旨ヲ説明シ、我が國ノ産業ノ復興ト振興ノ基本的ノ政策及ビ計畫ノ内容ト實施方法トヲ具體的ニ明示スベキモノデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ法案ハ非常ニ強力ナル命令權ト國家權力トヲ規定致シテ居リマス、而シテ勅令ノ委任事項ヲ規定致シテ居ルノデアリマス、政府ハ新シキ憲法案ヲ提出サレマシテ、既ニ本議院ヲ通過致シマシタ、新シキ憲法ニ於キマシテモ、勅令ニ委任スルト云フコトハ、ナシ得ラナイ筈デアルト思フノデアリマス、現行憲法ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、私ハ勅令ニ委任スルト云フコトハ、從來取扱ハレテ來テ居リマススケレドモ、其ノ勅令ニ規定スベキモノヲ提示シテ、議會ノ協賛ヲ受ケルコトガ當然デアラウト思フノデアリマス、況ヤ民主主義國家ノ健全ナル經濟再建ヲ企圖スル時ニ於キマシテ、勅令ニ委任スルガ如キ委任立法ヲ提出セラレト云フコトハ、之ヲ見マシテモ、私ハ憲法上本法案ニ對シテ疑義ガ存在致シテ居ルノデアアルマイカト思フノデアリマス、政府ハ勅令ニ委任スベキ所ノ事務ヲ、此ノ際ニ本法案ノ提

出ト同時ニ規定致シテ、議會ノ協賛ヲ受クベキ筋合ノモノデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)法案ヲ見マシテモ、一條カラ極ク簡單ナル法文ヲ以テ綴ラレテ居リマス、而シテ其ノ中ニハ、實ニ龐大ナ、強力ナ權力及ビ命令權ガ含まレテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、斯様ニ委任立法ヲ——勅令ニ委任致シマス爲ニ、過去ニ於テハ官僚制ノ經濟ト云フモノハ、此ノ強力ナル法ノ中ニ隠レテ、サウシテ之ヲ濫用シタ過去ノコトヲ考ヘテ見マスル場合ニ於キマシテハ、我々ト致シマシテハ斯様ニ簡單ナル法案、而モ委任立法——委任サレルベキ所ノ勅令ノ事項ノ規定ノナイモノニ對シテハ、御同意申上ゲルコトハ洵ニ困難ナコトデアラウト思フノデアリマス、申スマデモナク日本ノ經濟界ノ再建ニ當リマシテ、政府ハ軍需補償打切りヲ斷行致シマシテ、今後經濟ノ再建ニ關スル所ノ幾多ノ措置法案ガ出テ參ルト思ヒマス、現ニ政府ハ既ニ一部其ノ善後措置法案ヲ提出サレテ居ルノデアリマス、然ラバ此ノ提出サレテ居リマス所ノ法案、竝ニ今後ニ殘ツテ居リマス善後措置法案ト云フモノヲ提出サレテ參リマシテ、是ガ通過ノ上ニ於テ、政府ノ官僚ノ諸公達ガ經濟再建ノ中核ヲナス場合ニ於キマシテ、其ノ工作ガ果シテ民主的ニ積極性ヲ持シ、勞働大衆ノ負擔ノ輕キニ於テナシ得ラレルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ非常ニ疑フノデアリマス、私ハ此ノ勅令ニ其ノ儘委任スル場合ニハ、經濟再建ノ上ニ多クノ危險ヲ伴フモノト信ズルノデアリマス、又アノ法案ヲ通讀致シマスルナラバ、法案第二條ニ「物資」ト書イテアリマス、此ノ物資ト云フモノ

ノハ廣イ意味ノ物資デアラウカ、又其ノ物資ナルモノノ制當ニ對シテハ、產業團體ノ構成員ガ決議ヲ致シテ制當ヲ決定スル、之ニ對シテ不服ナル者ハ、不服ヲ申出ルコトガ出來ルト云フコトガ書イテアリマス、今日ノ如ク中央ニ於テ、或ハ地方ニ於テ、或ハソレガ時期々々ニ於テ制當テラレル所ノ多數ノ物資ガ、構成員ノ不服ニ依ツテ、一々公正ナル審議ヲナスコト云フコトハナシ得ラレヌノデアル、結局官僚ノ机上「プラン」ニ陥ル處ガアル、要スルニ物ノ制當ヨリモ、物ノ裏付ケヲ今日各產業團體ハ望ムデ居ルト云フコトヲ政府ハ考ヘテ裁カケレバナラス、私ハ此ノ意味カラシテ、アノ法案ノ中ニ幾多ノ疑義ガ存在致スノミナラズ、アノ法案ヲ以テ致シマスルナラバ、決シテ満足ナル產業團體ノ統制制當ガ出來ルモノデナイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、先程中シマシタヤウニ、私ハ現行憲法ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、當然之ニ疑點ヲ持ツモノデアリマス、政府ハ此ノ立法ノ根據、手續、將來執ラントスル所ノ勅令ノ例示、及ビ如何ニシテ之ヲ運用スルカト云フコトヲ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

第二點ハ、我が國ノ經濟再建ニ關スル政府ノ意圖スル經濟綜合施策ト、補償打切りニ伴フ善後處置ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、大藏大臣ノ出席ヲ特ニ議長ヨリ御願ヒテ申上ゲマス、私ハ此ノ善後處置ヲ一日デモ長引カシテ行クト云フ時ニ於キマシテハ、産業ノ復興上國民ノ安定感ヲ失ハシメテ、却テ財界ヲ混亂スル陷レ、以テ國民ノ自主創造性ヲ失墜スルモノデアルト懸念致スノデアリマス、申スマデモナク戰後經濟ヲ本格的ニ再建スル爲ニハ、財界ノ整理ヲ斷行致スコトハ當然ノコトデアリマス、財界ノ整理方針ト經濟ノ再建方針ト其體格的ニ政府ハ定メテ議會ヲ通ジテ國民ノ納得ヲ行クヤシテ國民ノ總意カラナル協力ト忍耐ヲ、政府ハ求ムベキデアラウト思フノデアリマス、經濟安定本部ガ發足致シマシテ人の機構ガ出來ルマデニハ、相當ノ年月ヲ費シテ居リマス、私共ノ考ヘマスノニハ、經濟安定本部ガ開應ト同時ニ、其ノ基本的政策ヲ綱領ヲ發表致スベキデアラウト思フノデアリマス、從來豫算總會ニ於テモ、本議場ニ於キマシテモ、安定本部ノ長官ハ具體的ナ施策ニハ觸レテ居ラレマセヌ、抽象的ニ其ノ施策ノ一端及ビ構想ノ一部ヲ御話ニナツテ居リマス、私ハ開應致スト同時ニ基本的ナ政策ヲ發表致スベキガ當然デアラウト思フノデアリマス、唯關係ガ徒ラニ、何レノ委員會ニ於テモ、何レノ本會議ニ於テモ、經濟安定本部ガ出來タナラバ其處ニ於テヤリマス、勿論施策ノ決定ニハ時日ヲ要スルコトハ當然デアリマスルガ、今日マデ在再日ヲ重ヌルナラバ、先ヅ以テ安定本部ニ於テ構想ヲ整ヘテ、其ノ基本的政策ヲ發表シテ、之ニ向ツテ實施ヲ致シテ行クト云フコトガ私ハ當然デアラウト思フノデアリマス(拍手)申スマデモナク今日我が國ノ經濟界ノ再建ニ對シマシテ、安定本部ノ持ツ役割ト申シマスモノ、恐ラク日本ノ經濟界再建ノ鍵ヲ握ツテ居ルト申シテモ私ハ過言デナイト思フ、日本ノ經濟ノ再建ト申シマスモノハ、何トシテモ「インフレ」ヲ克服シテ行カケレバナラス、此ノ「インフレ」ノ問題ト密

接ニ結付イテ居ルト云フコトハ申スマデモナイ、隨テ補償問題ノ處理ト關聯シテ行カケレバナラス、補償問題ニ付テハ政府ハ既ニ打切りヲ斷行サレマシタガ、是ハ補償問題ノ打切りヲ斷行サレマシテモ、今後ニ於キマシテハ國債ノ處理、財産稅ノ問題ト見合ツテ、此ノ補償問題ヲ打切ツテ行カケレバナラスト思フノデアリマス、隨テ結局ハ綜合施策ノ決定ニ於テ、財政ト經濟ト通ズル根本的ナ施策ノ立場ヲ一貫セシメテ行カケレバナナルマイト私ハ思フノデアリマス、今一般補償契約打切りヲ斷行サレマシテ、産業、金融兩界ノ全面的ナ、根本的ナ再編成ヲ行ウテ行カケレバナラスコトハ當然デアリマス、政府ハ之ニ對シテ、金融緊急措置令施行規則改正、會社經理應急措置法、復興金融庫法、金融機關經理應急措置法等ノ提出ヲ致サレテ、既ニ實施ヲ見テ居ルモノモアリ、今ヤ審議ノ半バニアルモノデアラウト思フノデアリマス、併シナガラ其ノ根本的施策ヲ行ヒマスコトニ付テハ、十分ナル用意ヲ整ヘテ行カケレバナラスガ爲ニ、マダ「殘サレタル所ノ重要ナ法案ガアリ、措置ガアラウト思フノデアリマス、即チ企業體制ヲ急速ニ確立スル措置法デアリマストカ、殘存企業ノ指定デアリマストカ、戰時特別稅、財産稅、企業再建整備、金融機關再建整備、個人及ビ公益法人ノ債權債務ニ關スル等ノ重要ナル措置法ガ未ダ提出ヲ見テ居ナイノデアリマス、就中企業再建整備ニ關スル特別決算方法、資産評價ニ關シテハ、特ニ政府ノ明快ナル御説明ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

第三ニ實シタイコトハ、日本經濟ノ回復及ビ振興ノ基本的政策デアリマス、言換ヘレバ、政府ノ考案サレテ居ル日本經濟ノ基礎的構想デアリマス、先ニ私ガ申述ベマシタ如ク、政府ト致シマシテハ、須ラク國民ニ希望ト協力ヲ促ス爲ニ、經濟再建ニ關スル正確ナル見透シヲ立テテ、之ヲ國民ニ公表スベキデアリマス、申スマデモナク日本ハ一切ノ植民地ヲ失ツテ居リマス、原料材ノ大量輸入ガ困難デアリ、空襲ニ於テ生産設備ノ大量ハ破壞サレテ居リマス、賠償ニ依リ設備撤去ナドヲ計算致シマスル時ニ於キマシテハ、日本ノ經濟ノ基礎的構想ガ、戰前ヨリ一變致シテ居ルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、軍備ノ爲ノ非生産的ナ要素ガ消滅致シマシタコトハ、僅カニ我が國ノ産業界ニ「プラス」ヲ與ヘタルミデアリマス、併シナガラ御承知ノ如クニ、聯合軍ノ占領費ノ負擔ニ依リマシテ、是ハ相殺サレテ居リマス、私共ハ戰前、昭和十年カラ十二年ニ至ル三箇年間ノ平均生産實績ヲ一〇〇トシタ、製造工業指數ノ主ナルモノヲ掲ゲテ見マスルナラバ、石炭四六・九、鐵鋼業八・八、非鐵金屬一二・六、機械工業三八・五、電氣機械二二・七、車輛工業四六・七、デゴザイマシテ、戰前ノ對比ニ於テハ、非常ニ慘メナ收縮ガ基礎産業ニ現レテ居ルノデアリマス、申スマデモナク鐵鋼業ノ不振ハ、ソレヲ原料トスル工業ノ、循環的縮小生産ヲ導ク趨勢ヲ示シテ居リマス、化學工業ニ於キマシテモ二・二、四、化學肥料ハ三・一、三、曹達工業ハ七・八、油脂工業ハ一・八、五デゴザイマシテ、戰前ニ比シテ洵ニ潰滅ノ狀態デアルト云ツテモ過言デナイヤウナ有様デアリマシテ、鐵、石炭、「セメント」、工業塩ノ不足ハ、致命的ナ障礙トナツテ居ルノ

デアリマス、鐵、石炭、「セメント」、工業鹽ノ基本原料ノ供給狀態ガ改善ナリ限リニ於キマシテハ、生産増強下コロカ、手持原料ノ消耗ト共ニ、生産ハ或ル點ニ來レバ遂ニ戰慄狀態ニ曝サレルノデアリマス、申スマデモナク現實ニ其ノ様相ガ現ハレテ居リマス、國ノ經濟ハ、企業各、ノ部門ノ生産物ヲ、通貨ヲ媒介シテ相互ニ交換シツツ、循環的ニ營業レテ行クノデアリマスカラ、鐵ナリ、石炭ナリ「セメント」ナリ、工業鹽ナリノ供給不足デ生産不振ニ陥レバ、雖テハ農村ニ於キマスル所ノ農業生産物ニ不可缺ナル資材ノ缺乏ヲ來スコトハ當然デアリマシテ、之ニ伴フテ農村ノ生産物ガ減退致シテ行クコト云フコトハ、當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、此ノ時ニ當ツテ日本ノ經濟ト云フモノハ、基本轉換ヲ致サナレバナラスノデアリマス、基本轉換ハ、即チ國民生活ニ重大問題デアリマス、補償打切りニ伴フテ企業ノ整理ハ行ハレツ、アルト申シマシテモ、先程私ガ申シマシタヤウナ幾多ノ善後處置ガ殘ツテ居ルノデアリマス、日本經濟ノ基本轉換ニ對シマシテ、八月二十四日ノ聯合軍發表ノ賠償撤去工場ヲ見マスルナラバ、即チ第二次發表ニ依リマシテ、八工業、五百五工場ノ撤去物件ニ對シテ、保全命令ガ來テ居ルノデアリマス、故ニ是等ハ將來我ガ國ヨリ撤去セラレルモノデアリマスカラ、撤去セラレルモノ、將來ノ我ガ國產業ノ再建ノ基本ヲ茲ニ樹テ、斯ウ云フモノガナクナツタ後ニ於テ、如何ニシテ我ガ國ノ產業ヲ再建シテ行カト云フコトノ基本政策ヲ樹立シテ行カナレバナラスノデアリマス、賠償ガドウ云フ風ニナ

ルカ分ラヌト云フ點モゴザイマシタデセウガ、今日ニ於テハ概ネ其ノ全貌ガ明カニナツタト申シテモ宜イト思フノデアリマス、日本ノ經濟ノ轉換ハ、申スマデモナク今後ニ於ケル賠償トモ見合セテ行カナレバナリマセウガ、恒久的ナ産業ノ政策ト云フモノヲ、先程申シタヤウニ立立テ、行ク、サウシテ行カナカッタナラバ、日本ノ經濟ト云フモノハ今後成立ツテ行カナイ、産業五箇年政策ヲ茲ニ立テ、サウシテ之ヲドウ云フ風ニシテ行カト云フコトヲ考ヘナレバナラス、從來ノヤウナ南方國ヲ含シテ自給經濟ヲ「破」レテ居リマス、關稅ノ障礙モ撤廢サレテ居リマス、斯ウ云フ時ニ於テ全商品ノ需給ガ、國內ノ需給關係ノミデ解決サレルト云フコトハ全然ナイト考ヘテ行カナレバナラスノデアリマス、隨テ産業ノ再建ニ當ツテハ、國際的ノ需給關係ヲ考慮ニ入レテ整備スル必要ガアルト共ニ、一方我ガ國ガ工業國トシテ立ツテ行ク所ノ、産業構成ノ有機的ナ面ヲ十分ニ探入レテ、單ニ輕工業ノミニ重點ヲ置イタ跛行的産業構成デハ、健全ナル工業ノ發達ハ不可能デアルト思フノデアリマス、茲デ我ガ考ヘテ行カナレバナラスコトハ、石橋大藏大臣ハ五日ノ時事新報ニ於テ、必要ナル所ノ産業ノ金ハバンドン出シテ行ツテモ差支ヘナイト云フコトヲ述ベテ居ラレマス、申スマデモナク本議會ニ於テ通過致シマシタル一般會計ノ豫算、特別會計ノ豫算、今後政府ノ放出セントスル所ノ金額ヲ合セマヌルナラバ、其ノ金額ハ非常ニ大キナ額ニ上ツテ行カデアラウト思フノデアリマス、私ハ物ノ生産ヨリモ、兎ニ角

通貨ノ方ガ先ヘ走ツテ行クコト云フ心配ヲ持ツテ居ル、是ハ今申上ゲマシタヤウニ、我ガ國ノ産業ノ再建ヲ致シマス前ニハ、ドウシテモ日本ノ從來ノ國內資源ノ狀態ヲ勘案シテ行カナレバナラス、日本ノ國ガ海外ヨリ幾多ノ工業原料ヲ輸入シテ居ツタ時代ノコトヲ考ヘナレバナラス、即チ昭和五年以前ノコトヲ考ヘテ行カナレバナラス、隨テ日本ノ産業ノ外國ヘノ依存程度ト云フモノヲ考ヘテ行カナレバナラスト私ハ思フ、私ガ申スマデモナク大藏大臣モ御承知ノ通り、我ガ國ノ今日ノ國內資源ニ於テ、如何ニ政府ガ金ヲ放出サレマシテモ、現在ノ企業ノ狀態デ是ガ回復ハ私ハ不可能デアルト思フ、ドウシテモ先程申シタヤウニ基本政策ヲ茲ニ立テ、サウシテ國外ニ一定「クレヂット」ヲ組ンデ、物ノ輸入ヲ圖リ、サウシテ放出サルベキ通貨ヲ少クシテ、「インフレ」ヲ防イデ行クヨリ外ニ途ガアルマイト、私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ、日本ノ國ノ根本的ナ、政府ノ持ツテ居ラレル産業ノ基本政策ニ付テ、私ハ關係閣僚カラ特ニ詳細ナル説明ヲ願ヒタイト共ニ、斯クシテ將來我ガ國ガ國際協定ニ參加スル準備ヲ如何ニナシツ、アルカ、國際協定ニ對シテ參加スル準備ヲ整ヘテ行カナレバナラス、此ノ點ニ付テ政府ノ意圖セラレテ居ル計畫内容、是等ノ政策ヲ具體的ニ、詳細ニ御説明願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、企業整理ニ依ツテ放出サルベキ失業者ノ受入態勢デアリマス、屢ニ此ノ議場ニ於キマシテモ各方面カラ此ノ問題ニ付テ議論サレ、或ハ委員會等ニ於テモ議論サレタノデゴザイマス、勿論大量ノ失業者ニ對シテ、援護ノ方策ヲ十分考慮スベキデアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、現在ノ物價カラ考ヘテ見マスルナラバ、私共ハ特ニ此ノ失業救済ト云フ勞務行政ガ、非常ニ重大ナル部門ヲ占メテ居ルコトハヘルノデアリマス、通貨ノ整理、所謂擬制資本ノ打ちリニ依ル企業ノ整理ハ、單ナル經濟的ノ處置ノミデハナイト考ヘル、大ナル政治的ノ意義ガ茲ニ生ジテ來ルト云フコトヲ考ヘナレバナラスト思フノデアリマス、四月二十二日以降ノ統計局ノ調査ニ依リマスルト、完全失業者百五十九萬、內就業七日未滿ノ者ガ九十六萬、同二十日未滿ガ三十九萬、引揚失業者ガ百五十萬、企業整理ニ於テ百萬、斯ク云フ失業者ガ出テ居ルト統計ニ現ハレテ居リマスガ、私ノ考ヘル所ニ依リマス、潛在失業者ヲ合セマヌラバ、現今七百五十萬程度ノモノガアルノデハナカラウト思フノデアリマス、過去ノ委員會茲ニ本會議ニ於テ、厚生大臣カラ此ノ失業救済ニ對スル色々ナル施策及ビ豫算等ニ付テ説明ガアリマシタカラ、今日ハ省略ヲ致シテ置キマスガ、私ハ單ナル從來ノ御答辯ノヤウナコトデ、今日此ノ失業者ヲ救済スルコト云フコトハ困難デアラウト思フ、ヨク社會黨ノ諸君ガ仰セラレル如クニ、完全雇傭ト云フ言葉ヲ使ハレル、完全雇傭致スト云フコトハ——尤モ致サナレバナラス、ソレヲ理想トシテ進メテ行カナレバナラス、併シ世界各國ノ統計ヲ見マシテモ、中々完全雇傭ト云フモノハ難カシイモノデアリマス、併シナガラ之ヲ目標トシテ總論ヲ決定致シテ行カナレバナラヌノデアリマス、隨テ企業ノ整理ヲ

致シ、マダノ擬制資本ヲ打切ツテ行カナレバナラスト云フ時ニ於テ、一面ニ於テ失業對策、其ノ受入對策ヲ茲ニ作り、一面ニ於テハ打切ラレタ資本ノ更生政策ト、各、ガ三本建デ並ンデ進行クヤウナヤリ方ヲ執ツテ行カナレバナラスノデアリマス、隨テ是ニ於テ私ハ考ヘルノニ、先ヅ日本ノ人口其ノモノヲ大體幾ラニ抑ヘテ行クノデアルカ、日本ノ人口ヲ幾ラニ抑ヘテ、其ノ中ノ失業者ガ幾ラアルカ、之ヲドウ云フ風ニ配分シテ行クカ、斯ウ云フ基礎ヲ立テ、行カナレバナラスト思フノデアリマス、私ハ此ノ意味カラ考ヘマシテ、先ヅ日本ノ農業部門ニ於キマシテハ、屢ニ農林大臣ガ、開墾其ノ他ノ耕地ノ整理ニ於テ斯クノ致スト云フコトヲ言ハレテ居リマス、ケレドモ、ソレガ內閣ノ綜合的ナ基本政策カラ流レ出テ居ル政策デナイト考ヘル、隨テ內閣ノ綜合的ナ基本政策カラ此ノ人口問題ヲ處理シ、失業問題ヲ處理シテ行カナレバナラスト思フノデアリマス、其ノ中ニ於テ、農業部門ニハドレダケノ人口配分ヲ行フ、工業部門ニ於テハドレダケノ配分ヲ行フ、配分ヲ致スナラバ、其ノ受入態勢ヲ一方ニ整ヘテ置イテ行ハナレバナラスト思フノデアリマス、隨テ此ノ配分ノ上ニ於テ、工業部門ニ於キマシテハ、只今申上ゲマシタ通り日本ノ今日ノ企業狀態ヲ如何ニシテ行クカ、將來如何ニシテ行カト云フコトノ計畫ヲ立テ、ソレガ出來上ツテ、ソレニ依ツテ、私ハ配分ヲ致シテ行カナレバナラスト思フノデアリマス、政府ハ是等ノ點ニ關シテ如何ナル意圖ヲ以テ此ノ失業救済ヲ行ハレルカ、或ハ又人口配分ニ

對シテ、如何ナル受入態勢ヲ以テ如何ニ配分スルカト云フコトニ付キマシテ、關係係僚ノ詳細ナル御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス。

私ハ今日「インフレ」ニ對シテハ相當ノ疑問ヲ持つテ居リマスガ、時間ノ關係上省略致シマス、唯大藏大臣ニ伺ヒタイコトハ、一方ニ於テハ「デフレ」政策ヲ執ツテ居ル、一方ニ於テハ資本主義の復興ノヤウナ、所謂通貨ニ依ル所ノ政策ヲ執ツテ居ラレル、「インフレ」政策ヲ執ツテ居ラレルノデハナイカト

思フ、私ハ資本主義の復興カ、或ハ社會主義の復興カト云フヤウナ、サウ云フ意味ヲ御尋ネヨスルノデハナクシテ、敢然タル信念ヲ持つテ、其ノ信念ノ下ニ一ツノ政策ヲ斷行シテ戴カナカッタナラバ、一面ニ於テハ通貨ハ膨脹シテ行ク、物ノ生産ハ成立ツテ行カナイ、一面ニ於テハ財稅稅ヲ取ツテ「デフレ」政策ノヤウナ恰好が見エル、丁度片方ハ「デフレ」ニ突込ミ、片方ハ「インフレ」ニ突込ミデ居ルヤウナ恰好が見ラレルハ

デアリマス、左様ナコトハ大藏大臣ハ、資本主義のデモナケレバ、社會主義のデモ何デモナイノデ、其ノ時ニ適應シテ最モ必要ナル手ヲ打ツテ居ルト仰セラレタノデゴザイマスガ、我々ト致シマシタナラバ、今日政府ニ確乎タル一モウ一ツ大藏大臣ハ信念ヲ持つテ此ノ政策ヲハツキリト國民ニ徹底ヲサセテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレハ申サマデモナク今日世上ニ於テハ非常ニ新聞ノ問題ニ付テ疑念ヲ持つテ居ル、新聞ノ再封鎖ガ來ナイカ、或ハ百圓札ヲ十圓札ト取替ヘテ置ク方ガ宜イノカ、色々ナ風評ガ世上ニ傳ハツテ居ルノデアリマス、大藏大臣ハ屢々新聞一本槍ノ政策ヲ行クト云フコ

トヲ唱ヘラレテ居リマスケレドモ、市井ニ於テ斯クノ如キ疑點ノ生ズルト云フコトハ、大藏省ノ執ツテ居ル政策ニ私ハ地ミガアルト思フノデアリマス、確乎タル一ツノ信念ヲ——茲ニ議會ヲ通シテ大藏大臣ノ所信ヲ明カニサレルコトガ必要デアラウ、ソレハ私ガ今最後ニ御尋ネヨスル所ノ問題ト深イ關係ガアルカラデアリマス。

補償打切りニ依ツテ、國民ノ國家ニ對スル信頼感ガ薄ライデ來テ居ル、例ヘバ農地法ヲ提案シテモ、農地證券ヲ賣ツテ先祖代々ノ田地ヲ取ラレテ、其ノ農地證券ガ又反古ニナリハスマイカト云フ心配ヲ、地主ノ一部ニ持つテ居ル者ガナイトハ、ヘナナイデアリマス、是ハ一例ヲ引イタニ過ギナイノデアリマスガ、一般信用組織ガ、信用ト云フモノガ、政府ニ對スル信頼感ガ薄ラゲト云フコトデアツタナラバ、容易ナラザルコトデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、信用組織ノ崩壞ヲ齎ス危險ガ、私ハ補償打切り後ニ於テ極メテ大キイト考ヘテ居リマス、而シテ一度破壞サレタル信用組織ノ再建ト云フモノハ、中々容易デナイト私ハ考ヘルノデアリマス、私ハ此ノ問題ハ、今後政府ガ失業救済ニ於テ必要ナ公債發行、或ハ資本ノ調達、預金ノ吸收等、事業資金ノ調達ハ、此ノ信用ニ依ツテ其ノ總テノモノガ左右サレルト考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ國民ノ信頼感ヲ政府ニ惹キ付ケテ行クト云フコトハ重大デハナイカト思フノデアリマス、其ノ惹キ付ケルニ付テハ、大藏當局ノ持つ所ノ確乎タル財政方針ヲ徹底的ニ國民ニ周知セシムルト云フコトデアアル、之ニ依ツテ國民ガ安心ヲシテ、サウシ

テ政府ヲ信頼セシムルト云フコトガ洵ニ私ハ緊要ナ問題デアラウト思フノデアリマス、特ニ此ノ點ニ付テ、此ノ議場ヲ通シテ大藏大臣ハ明確ニ國民ニ答ヘラレシコトヲ切望致スノデアリマス、之ヲ以テ私ハ質疑ヲ終リマス。

○國務大臣(藤井之助君) 答(前會の續)

第一ニ此ノ法案ハ安定本部ノ關係事項トシテ内閣カラ提出スベキデハナイカト云フ御尋ネガゴザイマシタガ、法案ニモアリマスル通り、主務大臣ハ決マツテ居リマス、主務大臣ハ商工大臣デアリマス、内閣ニ於テキマスル經濟安定本部ノ役ハ、一種ノ企畫應デアリマシテ、實行應デアゴザイマセス、斯カル法案ハ、ヤハリ實行シマスル各省ニ於テ立案提出スルノガ至當ト存ジテ居リマス。

次ニ此ノ法案ハ非常ニ廣汎ナ委任事項ガアツテ、又昔ノ官僚獨善統治ノ陋ルノデハナイカ、斯ウ云フ御心配ノ御尋ネガアツタノデアリマスガ、此ノ點ハ從前ノ國家總動員法ニ基キマスル諸法令ノモノトハ、全然趣キヲ異ニシテ居ルヤウナモノト存ジマス、第一番ニ從前ノ統治ハ、戰爭目的ニ國民ヲ驅リ立テル爲メノ法制デアリマス、今回ノ立法ハ、國民ノ生活安定、ソレガ爲ニスル經濟安定目的トスル立法デアゴザイマス、隨テ同ジヤウナ形ヲ取ツテ居ルヤウニ見エマスケレドモ、根本ニ於テ軍國主義の民主的トノ相違ガゴザイマス、第二ニハ、從來ノ統治法令ニ於テキマシテハ見ラレナイ特色ヲ、今回ノ法案ハ持つタノデゴザイマス、之ヲ運用スルニ致シマシテモ、第一番ニ産業

各般ノ根本問題ヲ決メマスル其ノ本ハ何カト申シマスルト、經濟安定會議デアリマス、此ノ安定會議ガ民主的ニ組織セラレマシタ其ノ組織ノ上ニ根本方針ヲ決定マセ、又此ノ安定會議ノ基礎的ノ機關デアリマスル經濟安定本部モ、從來ノヤウナ全ク官僚的ノ組織デナイコトハ、從來委員會、本會議ニ於テキマシテモ數次繰返シテ申上ゲテ居ルコトデアリマス、又此ノ統治ヲ實行シマスル諸產業團體モ、從來トハ違ヒマスル民主的ノ組織ヲ以テ運用スルコトニ相成ツテ居リマス、且ツ此ノ變轉極リナキ經濟現象ヲ見マスル際ニ、詳細ノ事項ヲ豫想シテ法律ヲ決メルト云フコトハ洵ニ困難カト存セラレマスルノデ、此ノ困難ニ應ジマスル爲メ、斯クノ如キ簡素ナル法律ノ形式ヲ採ツタモノデアゴザイマス、又此ノ法律ハ永久ニ存スル法律デアゴザイマセス、經濟安定本部ガ緊急ノ施策ニ應ジテ諸般ノ施設ヲシマスル其ノ間、此ノ經濟安定本部ノ設置ニ相付ツテ居リマスル臨時ノ法制デアゴザイマス、是等ノ點ニ於テキマシテ、從前ノ官僚獨善的ナ統治經濟ニ陥ルガ如キ心配ハナイト存ズルノデアリマス。

次ニ補償打切りニ關係シマシテ、補償打切りノ跡始末ノ法案ガ遅レテ、大分世間ノ人心ガ不穩デナイガ如何デアアルカト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、此ノ補償打切りニ伴ヒマス證券法案、殊ニ企業再建整備法、金融機關再建整備法、其ノ他ノ法令ハ、目下經濟安定本部ガ中心ト相成リマシテ、關係各省ト相連絡シマシテ、尙ハ關係方面ト諸種ノ點ニ付テ打合せ中デアリマシテ、不日ハ當議會ニ提出サレルト思フ

ノデアリマス、唯種々困難ナ問題ガアリマシテ、是ガ研究ニ手間取リマシテ、案外提案ガ遅レテ居ルコトハ、甚ダ私共モ残念ニ思ツテ居ル所デアゴザイマス。

次ニ安定本部ハ如何ナル構想ヲ以テ、如何ナルコトヲ爲スカト云フ御質問デアリマスガ、是ハモウ數次此ノ席カラノ經濟ノ再建ハ何デ定マルカト申シマスルト、繰返シテ申シマスル通り、私共ノ計畫通りニハ參ラナイノデアリマス、客觀的情勢ガ之ヲ支配スルハ荒レ果デマシタ、殘ル物ハ農地ト水面及ビ動力、又僅カ殘サレタ天然資源デアリマス、外國ノ力ヲ借りルニアラズンバ、中々此ノ經濟再建ノ困難ナルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、又國內ノ事情ト致シマシテハ、補償打切りニ伴ヒマシテ、經濟界ニ如何ナル様相ヲ呈スルカト云フコトハ、政府モ之ヲ豫測シヨウトシマシテモ、中々補償打切りノ様相ガ出テ來ル場合モゴザイマス、況ヤ賠償問題ノ輪廓ハ分リマシタケレドモ、此ノ賠償物資ノ決定ニ伴フ產業諸般ノ影響等ニ付キマシテハ、尙ホ未確定ノモノガゴザイマス、斯ウ云フヤウナ際ニ、細カイ構想ノ下ニ豫メ總テノ畫策ヲ決メルト云フコトハ、甚ダ危險デアルト申サナケレバナリマセス、併シナガラ斯ク申セバトテ、安定本部ノ今ヤツテ居リマスコトハ、或ル目標ニ對シテ進ンデ居リマス、是ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマシテ、我ガ國ノ經濟ノ安定ニ先ヅ大事ナコトハ衣食住ノ安定ニアリマス、衣食住ヲ増加セ

ノデアリマス、唯種々困難ナ問題ガアリマシテ、是ガ研究ニ手間取リマシテ、案外提案ガ遅レテ居ルコトハ、甚ダ私共モ残念ニ思ツテ居ル所デアゴザイマス。

次ニ安定本部ハ如何ナル構想ヲ以テ、如何ナルコトヲ爲スカト云フ御質問デアリマスガ、是ハモウ數次此ノ席カラノ經濟ノ再建ハ何デ定マルカト申シマスルト、繰返シテ申シマスル通り、私共ノ計畫通りニハ參ラナイノデアリマス、客觀的情勢ガ之ヲ支配スルハ荒レ果デマシタ、殘ル物ハ農地ト水面及ビ動力、又僅カ殘サレタ天然資源デアリマス、外國ノ力ヲ借りルニアラズンバ、中々此ノ經濟再建ノ困難ナルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、又國內ノ事情ト致シマシテハ、補償打切りニ伴ヒマシテ、經濟界ニ如何ナル様相ヲ呈スルカト云フコトハ、政府モ之ヲ豫測シヨウトシマシテモ、中々補償打切りノ様相ガ出テ來ル場合モゴザイマス、況ヤ賠償問題ノ輪廓ハ分リマシタケレドモ、此ノ賠償物資ノ決定ニ伴フ產業諸般ノ影響等ニ付キマシテハ、尙ホ未確定ノモノガゴザイマス、斯ウ云フヤウナ際ニ、細カイ構想ノ下ニ豫メ總テノ畫策ヲ決メルト云フコトハ、甚ダ危險デアルト申サナケレバナリマセス、併シナガラ斯ク申セバトテ、安定本部ノ今ヤツテ居リマスコトハ、或ル目標ニ對シテ進ンデ居リマス、是ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマシテ、我ガ國ノ經濟ノ安定ニ先ヅ大事ナコトハ衣食住ノ安定ニアリマス、衣食住ヲ増加セ

シムル諸産業ノ振興ニアリマス、同時ニ諸物資ノ輸入ヲ促進セシムベキ見返リ物資ノ生産産業ニアリマス、又基礎産業トシテハ、總テノ産業ノ根本デアル石炭鐵業ノ振興デアリマス、又國民ノ中堅層ヲ形作ルベキ中小工業ヲモ再起セシムル方針デアリマス、是等ノ問題ニ付キマシテハ、企業補償打切りノ後ノ様相ヲ見マシテ、一方ニハ金融的ニ、又一方ニハ物資ノ供給ニ依リ、是ガ再建ヲ圖ルト云フコトガ焦眉ノ急デアルト云フコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ、安定本部ハ關係諸省ト緊密ナル連絡ヲ保チナガラ、諸般ノ施策ヲ畫策シテ居ルモノデアリマス、是ト同時ニ大切ナコトハ物價ノ安定デアリマス、此ノ物價ノ安定アツテ、初メテ經濟ノ安定ノ基礎ガ出來ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテモ、新ナル構想ノ下ニ、一ツノ新シイ物價水準ヲ定メテ、經濟ノ安定ヲ圖ルコトニ致タトシテ準備ヲ致シテ居リマス、併シナガラ何ヲ申シマシテモ、經濟安定本部及ビ是ト兄弟ノヤウナ物價廳モ出來マシテ、マダ二十日間デアリマス、二十日ノ間ニ若シ一部ノ官僚ガ、又私共ガ、僭越シモ日本ノ諸産業ヲ指導スベキ考案ガアルトシテ發表シタナラバ、是ハ申上ゲルマデモナク甚ダ僭越ノコトデアリマシテ、是ガ爲ニ經濟安定本部デハ、安定會議ガ一方ニアリ、又其ノ下ニハ或ハ學者或ハ實務家或ハ關係各廳ノ有識者ヲ集メテ、是ガ根本問題ヲ考ヘテ、此ノ施策ニ誤リナキヲ期シテ居ルノデアリマシテ、尙ホ今申シマス應急ノ措置ヲヤツテ居リマス間ニハ、補償打切りニ伴ヒマス經濟ノ動搖ヲドウ云フ風ニ收拾スベキカト云フコトノ目

標モ定マリマス、又自ラ對外關係ニ於テモ、如何ナル物資ガ外國ニ希望出來ルカト云フコトモ漸次相定マリマス、是等ノ諸情勢ヲ相見マシテ、尙ホ國ノ衆智ヲ集メマシテ、是等ノ、或ハ三年計畫ト申シマスガ、五箇年計畫ト申シマスガ、兎ニ角國民舉ツテ産業再建、經濟安定、國民生活ノ安定ニ向フベキ目標ヲ、徐々デアリマシマスルガ、確實ニ定メテ參リタイト存ジテ居リマス

〔國務大臣石橋湛山君登壇〕

○國務大臣(石橋湛山君) 田中君カラ色々廣汎ナ御質問ヲ受ケマシタ、私ノ關係スル所ニ付テ簡單ニ御答ヘ申上ゲマス

第一ハ、大藏大臣ハ經濟再建ノ爲ニハ資金ヲ出スト云フヤウニ言ツテ居ルガ、併シナガラ通貨ノ増加ガ生産ノ増加ヨリモ先ニ行キハシナイカ、其處ニ問題ハナイカト云フ意味ノ御尋ネダツタカト存ジマスガ、是ハ御尤モデアリマシテ、假ニ通貨政策ダケデアルト致シマスレバ、所謂「リフレーション」政策ニナル弊デアリマスガ、詰リ沈滞シテ居ル生産ヲ通貨ノ増發ニ依ツテ、言換ヘレバ購買力ノ増大ニ依ツテ、其ノ生産ヲ刺激シテ増產ヲサセルト云フ政策デアルトスレバ、是ハ所謂「リフレーション」政策ニナリマス、其ノ場合ニハ無論通貨ノ増加ガ生産ノ増加ヨリモ稍々先ニ參リマス、併シナガラ先ニ參リマシテモ、若シ其ノ増產ガ非常ニ長イ先ノコトデナイナラバ、生産増加ヲ來シテ、而シテ「リフレーション」ノ目的ヲ達スルト云フノガ普通ノ公式デゴザイマス、併シナガラ今日ハ屢々申上ゲマスヤウニ、單ニ通貨ヲ經濟界ニ注入シテ、ソレニ依ツテ處理ガ出來ルヤウナ簡單ナ時代デハゴザイマセ

ス、併シナガラ一面ニ於テハ必要ナ場合ニハ、通貨ノ注入ニ依リマシテ生産ヲ助ケルト云フコトモ、是ハ是非必要デアリマスガ、ソレト同時今日ノ日本ノ生産狀態ニ鑑ミマシテ、生産其ノモノニ對シテハ強力ナ處置ヲ要スルコトハ言フマデモゴザイマセヌ、是ハ商工、農林其ノ他ノ各生産ニ關係スル所管省ニ於テソレレム、ヤツテ居ル譯デアリマスガ、殊ニ公共事業ノ如キニ於テハ、今政府ノ計畫シテ居ル——是ハ經濟安定本部ヲ中心ニシテ今計畫シ、殆ド總マツテ實行ニ掛ツタ居ル譯デアリマスガ、其ノ方法モ、時間、資材、勞力ト云フモノニ付テ非常ニ嚴密ナ査定ヲ致シマシテ、時間ノ關係カラ非常ニ延ビルモノハ後退シニスル、ソレカラ資材ガ其ノ場所ニアルト云フモノ、或ハ勞力ガ其處ニ餘ツテ居ルト云フ判斷ノ下ニ嚴密ナ査定ヲ行ヒマシテ、逐次實施スルコトニ致シテ居リマス、是ハ一例デゴザイマスガ、左様ナ政策ト同時ニ、大藏省ト致シマシテハ、必要ガアレバ其ノ場所ニ資金ヲ注入スル、斯様な方法デ問題ヲ解決シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

第三ハ、是ハ或ハ私カラ申上ゲルコトデハナイカモ知レマセヌガ、企業再建ニ付テ如何ナル具體策ヲ持ツテ居ルカ、例ヘバ人口配分或ハ失業對策等ニ付テ、如何ナル具體策ヲ持ツテ居ルカト云フコトデアリマス、是ハ只今國務大臣カラ御答ヘガアリマシタ通り、大キナ計畫ト云フモノハ無論出來ルタケ急イデヤラナケレバナリマセヌケレドモ、目下ソレヲ檢討中デアリマス、併シナガラ先般モ此ノ席カラ申上ゲマシタヤウニ、日本ノ産業經濟ノアリ方ト云フモノハ、少クモ其ノ輪廓ニ於テハ、「ボツダム」宣言其ノ他ニ於テ明白ニ示サレテ居ルデアリマシテ、其ノ中ニ於テ如何ナル施策ヲナスベキカト云フコトハ自ラ明カデアリ、政府ハ其ノ「ライン」ニ沿フテ目下ヤツテ居ル次第デアリマス、失業對策ノ如キモ、先程申上ゲマシタヤウニ、公共事業ノヤリ方ト云フモノニ付テ、種々ナル、寧ロ細カイ點マデ檢討ヲ致シテ對策ヲ立テテ居ル譯デアリマシテ、企業整理後ノ少クトモ當面ノ經濟政策ト云フモノハ明白デアリ、又其ノ明白ナル線ニ沿フテ諸々實行ヲ致シツ、アル次第デアリマシテ、其ノ點ニ於テハドウカ御安心ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ最後ニ、今回ノ補償整理等ノ爲ニ、政府ニ對スル信頼感ガ動搖シテ居ル、或ハ減退ヲシテ居ル、其ノ爲ニ大藏大臣ハ新圓ヲ再封鎖スルガ如キコトハ斷ジテナイト言フニ拘ラズ、世間デハ之ヲ信ジナイデハナイカト云フ意味ノ御質問デアツタカト思ヒマス、洵ニ遺憾デアリマスガ、御言葉ノ通りデゴザイマス、私は是ニ於テ、所謂知

官報號外 昭和二十一年九月四日 衆議院議事速記第三十九號 臨時物資需給調整法案 第一讀會(前會の續)

合ニハ、通貨ノ注入ニ依リマシテ生産ヲ助ケルト云フコトモ、是ハ是非必要デアリマスガ、ソレト同時今日ノ日本ノ生産狀態ニ鑑ミマシテ、生産其ノモノニ對シテハ強力ナ處置ヲ要スルコトハ言フマデモゴザイマセヌ、是ハ商工、農林其ノ他ノ各生産ニ關係スル所管省ニ於テソレレム、ヤツテ居ル譯デアリマスガ、殊ニ公共事業ノ如キニ於テハ、今政府ノ計畫シテ居ル——是ハ經濟安定本部ヲ中心ニシテ今計畫シ、殆ド總マツテ實行ニ掛ツタ居ル譯デアリマスガ、其ノ方法モ、時間、資材、勞力ト云フモノニ付テ非常ニ嚴密ナ査定ヲ致シマシテ、時間ノ關係カラ非常ニ延ビルモノハ後退シニスル、ソレカラ資材ガ其ノ場所ニアルト云フモノ、或ハ勞力ガ其處ニ餘ツテ居ルト云フ判斷ノ下ニ嚴密ナ査定ヲ行ヒマシテ、逐次實施スルコトニ致シテ居リマス、是ハ一例デゴザイマスガ、左様ナ政策ト同時ニ、大藏省ト致シマシテハ、必要ガアレバ其ノ場所ニ資金ヲ注入スル、斯様な方法デ問題ヲ解決シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ國際經濟ヘノ參加ノ必要及ビ其ノ準備ヲ如何ニシテ居ルカト云フ意味ノ御尋ネデアツタカト考ヘマス、御説ノ通り日本ハ過去ニ於テモ、單ニ資源ノミナラズ、「マートケット」ヲモ亦國外ニ大イニ之ヲ求メナケレバ、日本ノ經濟ノ維持或ハ日本國民ノ生活ノ水準ノ維持ガ出來ナイト云フコトハ、過去ノ我が國ノ經濟ガ證明スル通りデゴザイマス、況ンヤ今日ハ過去ニ於ケル領土ガ更ニ縮小シタノデアリマス、益々以テ國際經濟ヘノ自由ナル參加ガ必要デアル譯デアリマス、同時ニ又此ノ國際

經濟ヘノ自由ナル參加ガ可能デアルナラバ、是ガ許サレナラバ、私ハ日本ガ今回ノ戰爭ニ依ツテ領土ヲ縮小シマシタコトハ、何等憂フルニ足ラナイト考ヘテ居ル譯デアリマス、純經濟的ニ申シマスナラバ、自分ノ領土デアツテモ、或ハ領土デナクテモ、若シ貿易ガ自由デアリ、經濟ノ關係ガ自由デアラナラバ、是ハ同ジコトデアリマシテ、例ヘバ朝鮮、臺灣カラ過去ニ於テ只デ物ヲ持ツテ來タノデハナク、ヤハリ内地デ國民ガ消費スルモノハ、ソレダケノ代價ヲ朝鮮、臺灣ニ拂ツテ持ツテ來タノデアリマスカラ、朝鮮、臺灣ガ外國ニナリマシテモ、純經濟的ニ見レバ同ジコトデアリマス、問題ハ唯此ノ國際經濟ヘノ自由ナル參加ガ何時許サレルカト云フ問題デアリマス、私共ハ、是ハ無論希望の意見ガ入ル譯デアリマシタ、此ノ參加ハ成ベク早く許サレルコトヲ望ミ、又許サレルデアラウト信ジテ居ル譯デアリマス、隨テ政府ト致シマシテハ此ノ準備ヲ少シモ怠ツテ居リマセヌ、最近經濟界ノ整理ヲ致シ、今後マダ其ノ仕事ガ續イテ、色々ノ關係デ多少遲レテ居リマスガ、其ノ仕事ヲ續ケテ參リマスノモ、要スルニ國內經濟ニ於ケル不安定要素ヲ一掃致シマシテ、殊ニ大藏省ノ所管ト致シマシテハ、通貨價值ノ安定ヲ出來ルダケ早イ時期ニ達シタイ、其ノ爲ニハ屢々問題ニナリマス新舊圓ノ區別ト云フガ如キハ撤廢致サナイコトニハ、撤廢致シ得ル時期ニ至ラナイコトニハ、國際經濟ヘノ參加ヲ、假令政治的ニハ許サレテモ、經濟的ニハ許サレナイト云フ事情ヲ考ヘテ、目下其ノ施設ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス

第三ハ、是ハ或ハ私カラ申上ゲルコトデハナイカモ知レマセヌガ、企業再建ニ付テ如何ナル具體策ヲ持ツテ居ルカ、例ヘバ人口配分或ハ失業對策等ニ付テ、如何ナル具體策ヲ持ツテ居ルカト云フコトデアリマス、是ハ只今國務大臣カラ御答ヘガアリマシタ通り、大キナ計畫ト云フモノハ無論出來ルタケ急イデヤラナケレバナリマセヌケレドモ、目下ソレヲ檢討中デアリマス、併シナガラ先般モ此ノ席カラ申上ゲマシタヤウニ、日本ノ産業經濟ノアリ方ト云フモノハ、少クモ其ノ輪廓ニ於テハ、「ボツダム」宣言其ノ他ニ於テ明白ニ示サレテ居ルデアリマシテ、其ノ中ニ於テ如何ナル施策ヲナスベキカト云フコトハ自ラ明カデアリ、政府ハ其ノ「ライン」ニ沿フテ目下ヤツテ居ル次第デアリマス、失業對策ノ如キモ、先程申上ゲマシタヤウニ、公共事業ノヤリ方ト云フモノニ付テ、種々ナル、寧ロ細カイ點マデ檢討ヲ致シテ對策ヲ立テテ居ル譯デアリマシテ、企業整理後ノ少クトモ當面ノ經濟政策ト云フモノハ明白デアリ、又其ノ明白ナル線ニ沿フテ諸々實行ヲ致シツ、アル次第デアリマシテ、其ノ點ニ於テハドウカ御安心ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ最後ニ、今回ノ補償整理等ノ爲ニ、政府ニ對スル信頼感ガ動搖シテ居ル、或ハ減退ヲシテ居ル、其ノ爲ニ大藏大臣ハ新圓ヲ再封鎖スルガ如キコトハ斷ジテナイト言フニ拘ラズ、世間デハ之ヲ信ジナイデハナイカト云フ意味ノ御質問デアツタカト思ヒマス、洵ニ遺憾デアリマスガ、御言葉ノ通りデゴザイマス、私は是ニ於テ、所謂知

ラシムベカラズ由ラシムベシト云フ言
葉ヲ思ヒ起スノデアリマシテ、知ラセ
ヨウト思ヒマシテモ、中々人ガ知ツテ
吳レナイモノデアリマス、實際ノ事實
ニ依ツテ示セバ、即チ由ラシムレバ、
ソレニ依ツテ初メテ本當ノ信頼感ガ現
ハレルノデアリマス、私ガ先般來歴、
新圖ノ問題ニ付キマシテ、是ハ如何ニ
力ヲ以テ追掛ケテヤリマシテモ、一時
ハ效能ガアルカモ知レナイケレドモ、
結局半年モ経テバ又元ニ戻ル、蠅ヲ部
屋ニ飼ハウトシテモ、中々飼ヘナイデ
逃ゲテ行クガ、飯粒ヲ置ケバ自ラ蠅ガ
集マツテ來ルト云フ、二宮尊徳ノ言葉
ヲ思ヒ起ス譯デアリマス、私ハ今日本
ノ經濟界ニ一ツ飯粒ヲ置キタイト考ヘ
テ居ル譯デアリマス、ソレニハドウス
ルカト云フト、先ヅ第一今日ノ整理
ヲ徹底サセル、是ハ經濟界ノ眞理デア
リマスガ、總テ物ハ底ニ來レバ必ズ違
フ傾向ヲ持チマス、又天井ヲ打テバ下
ツテ來ル、是ハドウ云フ「サイコロ
ジ」カト申セバ、結リ是デ事ガ徹底シ
タ、モウ此ノ上ニハ惡材料ハ出ナイト
云フコトガ世間ニ分レバ、必ズ良イ方
ニ向ツテ來ルト云フ次第デアリマス、
今日ノ整理ハ同ジコトデアリマシテ、
此ノ整理ヲ徹底サセテ、此處デドン底
ダト云フコトガ感得サレルヤウニナリ
マスレバ、即チソレガ所謂飯粒ヲ置ク
ト云フ譬ニ類スルノデアリマシテ、迫
ハズトモ自ラ新圖ハ集マル所ニ集マ
ル、金融機關ニ集マル、其ノ上ニ更ニ
又ソコマデ來レバ、種々ナル對策ガ立
テ得ルト考ヘルノデアリマシテ、今日
私ガ今ヤラウトシテ居リマスコトハ、
即チ先ヅ以テ整理ヲ徹底サセル、サウ
シテ國民ノ信頼感ヲ、唯口デ言フノデ
ハナクテ、事實ニ於テ之ヲ呼ビ戻ス、

斯ウ云フコトニアル次第デアリマス、
甚ダ簡單デアリマスガ、以上御答へ致
シマス(拍手)

【國務大臣星島二郎君登壇】

○國務大臣(星島二郎君) 田中君ノ御
質問ニ對シマシテハ、當面私ヨリ直接
御答へスル資料モ示サレテ居ナイノデ
アリマスガ、唯此ノ法案ニ主ツトシテ
初メカラ關係致シマシタ關係上、一言
此ノ機會ニ御答へシタイと思フノデア
リマス、率直ニ申シマスレバ、田中君
ノ仰セノ如ク、經濟安定本部ガ假ニ半
年程前ニ出來テ居ツタラバ、是ハヤハ
リ經濟安定本部デ立案ヲ願フベキモノ
ダ、斯様ニ思フ筋モアルノデス、併シ
サウ固ク考ヘナイデ、隱退藏物資ニ致
シマシテモ、是ハ各省皆關係ガアルノ
デス、ケレドモ商工省ガ比較的一番關
係ガ多カッタカラ、アレハ商工省デ預
カツテ居ル、今回ノ此ノ問題ニ致シマ
シテモ、今主務大臣ハ商工大臣デアルト
仰シヤツタノハ、是ハ膳サンノ一寸言ヒ
間違ヒデアリマシタ、是ハ農林大臣モ
大藏大臣モ皆アルノデアリマシテ、其
ノ中デモ少クモ九〇%位ハ商工省關
係ノモノガ多イダラウト思フノデス、
ソレデ之ヲ商工省デ預カッタノデアリ
マシテ、斯ウ云フ所謂全體のニ影響ス
ルヤウナモノハ、或ハ今後ハ安定本部
等デオ預カリ下サルコトガ妥當デア
ルノデヤナイカ、斯ウ私ハ思ヒマスノ
デ、田中君ノ御意見ニ對シテ率直ナル
自分ノ感想ヲ申上ゲル譯デアリマス
ガ、併シ全體ト致シマシテ、實ハ私自
身モ此ノ法律ハ少シ無理デヤナイカト
初メカラ思ツテ居ツタノデス、併シ七
月十五日デ輸出等臨時措置法ハモウ期
限ガ切レテシマヒマシタ、九月ノ終リ
デ總動員法ハナクナツテシマフ、此ノ

二ツノ法律ガナクナツタ後デ、果シテ
ヤツテ行ケルカト云ヘバ、ドウシテモ
此ノ法律ノ裏付ケガナケレバ、今日ノ
ヤウナ物資ノ需給ノ不均衡デハヤツテ
行ケナイ、肥料ニ致シマシテモ、生産
ノ計畫性ヲ十分徹底シナケレバナリマ
セズ、或ハ少イ物資ノ配給ヲ適正ニス
ル爲ニハ、ドウシテモ政府ニ或ル程度
マデノ權力ヲ與ヘテ貰ハナケレバナラ
ス、從來ハ總動員法或ハ輸出臨時措置
法ノ如キハ、全ク戰爭ノ爲ニアレハ作
ツタヤウナモノデアアル、併シ今度ノハ
是ハ企業再建ノ爲ニ作ルノデアリ
マシテ、而モ先程國務大臣ヨリ
仰セノ如ク、全ク主務大臣ガサウ勝手
ニハ出來ナイノデアリマシテ、全部安
定本部ノ會議ノ議ヲ經テ、サウシテ安
定本部總裁ノ命アルモノデアツテ、ソ
レカラヤル仕事ノ方ハ、全部民主的ナ
ル產業團體ヲ通ジテヤルノデアリマス
カラ、從來トハスツカリ變ツタ形トナ
リマスカラ、其ノ點ハ御安心ヲ願ヒタ
イ、斯様ニ思フ譯デアリマス(拍手)

○田中源三郎君 厚生大臣ノ答辭ガ殘
ツテ居リマス

【國務大臣河合良成君登壇】

○國務大臣(河合良成君) 田中君ノ御
質問ニ御答へ致シマスガ、私ハ丁度貴
族院ノ豫算委員會へ行ツテ居リマシ
テ、一寸聽キ洩ラシマシタノデ、或ハ
答辭ガビツタリ來ナイカモ知レマセヌ
ガ、御諒承願ヒマス

今年内ニ於ケル失業率ノ數デアリマ
スガ、今マデ私ハ此ノ議場デモ約五百
萬ト申シテ居リマシタガ、最近段々調
査致シマシテ、少シ減リマシタ、今ノ
見當ハ四百十六萬位ノ見當デ居リマ
ス、ソレハドウ云フ譯カト申シマス
ト、海外カラ引揚ゲテ來ル人が四百四
十萬人ト見マシテ、ソレカラ百五十萬

人ノ失業率ガアルト云フ推定ダツタノ
デスガ、滿洲ノ方ノ人ガ遅レマスノ
デ、ソレデ二百五十四萬人歸ル豫定ニ
ナリマス、サウシマス、百五十萬人
ガ八十六萬人位ノ數ニ減リマス、是ガ
一ツ、ソレカラモウ一ツハ、軍需補償
打切り、賠償撤去ニ伴ツテ約百萬ト云
フ推定デ居リマシタガ、段々調査ヲ進
メマス、軍需補償打切りニ依リ、機
械工業、金屬工業、窯業、製材、合板
ノヤウナ事業ガ影響ヲ受ケマスガ、其
ノ影響ヲ受ケル事業ノ現在ノ就業者數
ハ二百九十九萬人アルノデス、其ノ二百九
十萬人ノ中カラドノ位ノ失業率ガ出ルカ
ト云フコトヲ色々標準デ檢討スルノ
デスガ、中々難カシイ檢討デアリマシ
テ、ソレデ已ムヲ得ズ石炭ノ使用量デ
算定ヲ付ケルノデアリマス、石炭ノ使
用量ハ、昭和十五年ニ比シマシテ約三
割九分シカ使ツテ居リマセヌ、ソレデ算
盤ヲ置キマス、約五十萬人ト云フ失
業者ガソコカラ出テ來ル計算ニナリマ
ス、尙ホ其ノ他銀行、金融業方面カラ
三萬五千人バカリ出ル豫定デアリマス
ノデ、彼此レ五十九萬位ニナルノデア
リマス、ソコヘ賠償撤去ニ依ツテ十
五、六萬出來マスノデ、總計ハ七十五
萬位ニナリマス、其ノ點ニ於テ又二十
五萬程減リマシタ、彼此レ合セマシテ
約百萬近クガ減ジマシテ、四百十六萬
ト云フ推定デ居リマス、是モ全ク推定
ニ過ギマセヌ、其ノ他ニ潛在的失業率
ト云フモノハ勿論相當アル見込デア
ル、ソレハドウ云フ譯カト受入レルカト
云フ御質問ノ趣旨ト拜承致シマシタ
ガ、是ハ甚ダ漠然トシテ居リマス、中
精細ノコトハ分リマセヌ、是ハ何レ
安定本部デ正確ニ決メルコトニナルノ
デアリマスルガ、只今安定本部ニ引繼

グ爲ニ厚生省トシテ作ツテ居リマスル
材料ニ依リマスルト、約四百四十萬人バ
カリハ一般民需産業方面ニ行クノデヤ
ナカラウカ、又ヤリタイモノダト云フ
考ヘデ居リマス、其ノ細カイコトハ、
工業、例ヘバ日用品工業トカ或ハ纖維
工業、肥料其ノ他ノ化學工業、金屬機
械工業ノヤウナ方面、或ハ石炭其ノ他
ノ鑛山業、或ハ交通運輸業、土木建築
業、一般商業、斯ウ云フ方面ニ約四百
十萬人バカリ入レタイモノダト思ツ
テ居リマス、併シ此ノ問題ノ一番中心
問題ハ石炭デス、石炭ヲ増産シナクチ
ヤ斯ウ云フ問題ハ中々解決困難、石炭
ハ失業者對策ニ對スル特效藥デアルト
云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第
二番目ニ進駐軍ノ住宅關係デアリマス
ルガ、住宅、道路、兵舍等ニ約四十萬
人バカリ豫定シテ居リマス、ソレカラ
三番目ハ一般ノ公共事業、例ヘバ開
拓、林道、造林、漁港、道路、河川、
砂防、北海道拓殖、斯ウ云フ方面デア
リマスガ、之ニ約九十五萬人バカリ失
業者ヲ送りタイト云フ見込デアリマ
ス、ソレカラ都市ニ於ケルマスル所ノ公
共事業トシマシテ、戰災復興、港灣、
道路、河川、ソレカラ日僑勞務ヲ機動
的ニ「プール」スルト云フヤウナ設備
デ、約二十萬人バカリ思ツテ居リマ
ス、ソレカラ賠償施設ノ撤廢、兵器破
壞等ノ作業ニハ相當數ガ要リマスガ、
マダ見込ガ立チマセヌ、職業輔導、授
産施設等ニ五萬人バカリ、共同作業等
ニ十萬人バカリ、ソレカラ知識階級ノ
救済ニ二萬六千バカリ、合計三百二十
萬前後ノ失業率ノ受入態勢ヲ豫定シテ
居リマス、其ノ外尙ホ在村勞力ニモ、
勿論此ノ外ニ相當使ヘルノデアリマ
ス、併シ是ハ唯豫定デアリマシテ、斯

ウ云フ線ニ向ツテ具體的ニ段々進ミタ
イト云フ見當デアリマスルカラ、其ノ
コトヲドウカ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒ
マス
○田中源三郎君 此ノ席カラ御許シテ
願ヒタイと思ヒマス
○議長(山崎猛君) 許シマス
○田中源三郎君 只今ノ安定本部ノ大
臣ノ御答辯ハ、洵ニ抽象的デアリ、私
ノ質問シタ要點カラ外レタ御答ヘヲ致
サレテ居ルノデアリマス、根本的ナ政策
ヲ樹立シテ、其ノ梓ヘ皆入レテ行クト
云フ政策ガ出來テ居ルカドウカト云フ
コトヲ尋ネマシタノニ對シマシテ、只
今ノヤウナ抽象的ナ御答ヘガアツタノ
デアリマス、物價ノ問題ニ致シマシテ
モ、物價ノ安定ヲ圖ルト仰シヤイマス
ガ、然ラバ如何ニシテ物價ノ安定ヲ御
圖リニナルノデアリマスカ、具體的ナ
一ツノ方法ヲ茲ニ御示シテ願ヒタイ
尙ホ價格政策ニ對シテ一體如何ナル
價格政策ヲ今後御執リニナルノデアル
カ、物價ヲ一定ノ水準デ安定ヲ圖ルト
仰シヤラレマスガ、占領地區ニアル所
ノ國內ニ、如何ニシテ物價ノ水準ヲ御
圖リニナルノデアリマセウカ、私ハ物
價ノ水準ハ、到底アナタガ仰シヤルヤ
ウナコトハ出來得ナイ、日本ハ今日占
領サレテ居ル、隨テ占領軍ノ必要ナル
モノニ於テノ需給ハ多クナリマセウ、
國內需給ノモノハ下ルニ決マツテ居
ル、私ハアナタガ仰シヤルヤウニ簡單
ニ物價ノ水準ガ安定セラレルト云フヤ
ウナ、左様ナ生温イ考ヘハ持チマセ
ヌ、如何ニシテ此ノ點ニ付テ安定ヲナ
サルノデアルカ、此ノ點ノ詳細ナ御説
明ヲ願ヒタイ

急イデ早クヤリタイ、ソレヲ以テ國際
協定ノ參加ノ準備ヲスルト仰シヤツタ
ノデアリマスルガ、此ノ撤廢ノ時期ハ
何時頃デアルカ、大體ノ見透シヲ此處
ニハツキリ申述ベテ戴キタイ
ソレカラ今厚生大臣ガ御話ニナリマ
シタ戰災失業者ト云フモノハ相當アリ
マス、アナタハ今豫想ト仰シヤラレマ
シタカラ確定のニハ私ハ追究ハ致シ
マセヌ、數字ノ異同ノアルコトハ認メ
マス、併シナガラ今アナタノ仰
シヤツタヤウナコトデハ、受入
態勢ハ出來ナイ、ナゼナラバ賠償物資
ノ撤去ニ依ル所ノ失業者ハ、アナタ方
ノ豫想サレテ居ルヨリ餘計出マス、我
我ノ方ニ於テ算定ガナシ得ラレマス、
然ラバ大體ニ於テ撤去サレル工場ノ總
テノモノハ分ツテ居ル、見透シヲ立テ
テ具體的ナ受入政策ヲ立テ行クベキ
デアラウ、未ダニ政府ガ左様ナコトヲ
仰シヤツテ居ツタナラバ、安定本部ハ
机上倒レデアツテ、決シテ日本ノ産業
ト云フモノハ安定出來ナイト云フコト
ヲ私ハ斷言スル、モツトシツカリシタ、
信念ニ充チテ御答辯ヲ願ヒタイ
○國務大臣(藤桂之助君) 此ノ國際情
勢ノ下ニ於キマシテ、我が國ガ完全ナ
ル獨立ヲ持ツテ居ラナイ今日ニ於キマ
シテ、經濟ノ安定ヲ圖ルト云フコトノ
困難ナルコトハ申上ゲルマデモナイヨ
トデアリマス、今御尋ネノアリマシタ
物價ノ問題ニ付キマシテモ、非常ナ困
難ノアルコトハ覺悟ヲセネバナリマセ
ヌ、併シナガラ進駐軍ノ管理下ニアル
ガ故ニ物價ノ安定ヲ得ナイトハ私ハ感
ジマセヌ、如何ナル方針ヲ以テ物價ヲ
安定スルカ、今マデハ總テノ經濟ノ活
動ニ非常ナ不自然ガアリマシタ、一方

ニ資本ノ振替ヲ打切ル爲ノ思ヒ切ツタ
措置モ既ニ執ラレテ居ルノデアリマ
ス、總テノ經濟現象ニ不自然ナモノヲ
出來ルダケ取去リマシテ、アリノ儘ノ
モノデ、是カラハ我々ハ直而スル經濟
政策ニ向フノデアリマス、勿論直チ
ニ、一箇月、二箇月ノ間ニ物價ノ水準
ヲ定メテ是ガ安定スルトハ私モ考ヘテ
居リマセヌ、併シナガラ如何ニシテモ
是ハナサネバナラナイ事業デアリマ
ス、私共ハ一ツハ先ヅ米ヲ中心トシマ
ス主要食糧ノ物價ヲ中心ト致シマシ
テ、之ニ見合フ勞銀ノ標準ヲ定メル、
尙ホ一方ニハ總テノ工業ノ中心デアリ
マスル石炭ノ價格ノ安定ヲ圖ル、是等
ノ三ツノモノヲ中心ト致シマシテ、諸
物價ニ「アンバランス」ノナイ、是ハ
勿論一舉ニシテ出來ルハ存ジマセヌ、
併シナガラ私共ハ之ニ業智ヲ集メテ努
力シ、此ノ物價安定ニ對スル諸施策ヲ
バ、各省ト關聯シテ致ス積リデゴザイ
マス
○國務大臣(石橋湛山君) 田中君カラ
ノ重ネテノ御質問ハ、新圓、舊圓ノ撤
廢ノ時期如何ト云フコトノヤウニ伺
ヒマシタガ、是ハ何月何日トハ申上ゲ兼
ネマス、併シ今日ノ整理ヲ行ヒマシ
テ、此ノ一聯ノ政策ガ濟ミマシテ、例
ハ財產稅ノ徵收等モ濟ミマシマデノ間
ニ然ルベキ時期ヲ見定メテ、適當ニ處理
致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○田中源三郎君 簡單デスカラモウ
點ダケ……
○議長(山崎猛君) 簡單ニ願ヒマス
○委員會デヤレト呼ブ者アリ
○田中源三郎君 委員會ニ讓ルコ
トニ致シマス
○議長(山崎猛君) 鈴木明良君

○鈴木明良君 只今上程中ノ臨時物資
供給調整法案ニ對シテ、私ハ數點ノ重
要ナル問題ニ互リ、政府ノ所信ヲ質サ
ントスルモノデアリマス
今日凡ユル物資ハ極度ニ缺乏シ、供
給ノ僅少ナル時、物資ノ需要ト供給ト
調整ヲ必要トスルコトハ今更言ヲ俟タザ
ル所デアリマス、唯問題トスル所ハ、
如何ニシテ合理的の民主的のニ此ノ目
的ヲ達スルカト云フ點デアリマス、本
案ハ、産業ノ回復及ビ振興ニ關シ經濟
安定本部總裁ガ定メル基本的ナ政策及
ビ計畫ノ實施ヲ確保スル爲メ、一、物
資ノ割當又ハ配給、二、物資ノ生産若
シハ加工事ノ施行並ニ是等ノ禁止、
三、物資又ハ設備ノ保護、引渡又ハ貸
與ニ付テ、主務大臣ニ必要ナル命令ヲ
ナス權限ヲ付與スルコトヲ企圖スルモ
ノデアリマス、仍テ私ハ其ノ第一ノ質
問ト致シマシテ、物資供給ノ權限ヲ主
大臣ニ白紙委任スルコト云フ點ニ付テ御
尋ネ致シマス、本法案ハ、前ニ申シタ
事項ニ付テ、斯クモ廣汎ナル權限ヲ
主務大臣ニ白紙委任スルモノデアリマ
スルガ、斯クノ如キハ民主的議會政治
ノ原則ニ相反スルモノデアリマス、ヒ
ヤヒヤ「拍手」又產業ノ回復及ビ振興ノ
爲メ凡ユル物資ノ調整ガ必要デアル場
合ニモ、此ノヤウニ廣汎ナル權限ヲ主
務大臣ニ白紙委任スル必要ガドウシテ
アルノデアリマセウ、是ガ私ノ疑問ト
スル所デアリマス、我々ハ曾テ戰力増
強ノ美名ノ下ニ、或ハ又軍機ノ秘密保
持ニ名ヲ藉リタ此ノ種ノ立法、即チ廣
汎ナル權限ノ白紙委任ノ内容トスル法
律ガ行ハレタコトヲ忘レテハ居ナイノ
デアリマス、過去數年ニ互リ、民意ヲ蹂
躪セラレマシタコトハ諸君御承知ノ如

クデアリマス、是ガ即チ「ファッショ」
政治、軍人官僚專制政治ノ法律上ノ根
據トナツタノデアリマス、此ノ最モ極
端ナルモノガ國家總動員法デアリマ
ス、而シテ只今問題トシテ居リマスル
臨時物資供給調整法案ハ、大體ニ於テ
國家總動員法第八條、第十條、第十六
條ガ、再ビ此處ニ衣更ヘヨシテ登場ス
ルノ疑ヒヲ多分ニ有スルノデアリマス
○「拍手」更ニ掘下ゲテ言フナラバ、我々
八千萬國民ヨリ無條件ニテ白紙委任狀
ヲ徵收スルガ如キモノデアリマス、斯
カル法案ハ、指導者原理乃至全體主義
的「イデオロギー」ニ基礎ヲ置ク時代錯
誤ノモノニシテ、自由主義、民主主義
ノ方向ニ逆行スル惡法デアルト言ハザ
ルヲ得ナイノデアリマス(拍手)今日ノ
如キ物資不足ノ時ニ於キマシテハ、寧
ロ金錢ニ關スル政府ノ行爲ヨリハ、物
資ニ關スル行爲ノ方が、却テ國民ノ生
活ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノデアリ
マス、戰時中ハ金錢ニ付テモ、臨時軍
事費トシテ軍部ニ對シ其ノ使途ヲ白紙
委任シタモノデアリマスルガ、終戰ト
共ニ斯カルコトハ行ヘナイノデアリマ
ス、如何ナル金ヲ、如何ナル方法デ徵
收シテ、如何ナル使途ニ向ケルカニ付
テハ、政府ハ細目ニ互リ、議會ノ檢討
ヲ經、協賛ヲ得ナケレバナラナイノデ
アリマス、即チ一圓ノ金ト雖モ、議會
ノ協賛ナクバ使ヘナイト云フ民主的政
治トナツタノデアリマス、ドウシテ此
ノコトガ今日物價ニ付テ行ヘナイノデ
アリマセウカ、議會ハ物價ニ付テダケ依
然トシテ戰時中ノ如ク此ノ處分ヲ白紙委
任シナケレバナラナイノデアリマセウ
カ、私ハ固ヨリ今日ノ如キ時代ニハ統
制經濟ノ必要ナルコトハ勿論ノコト、
産業ノ回復及ビ振興ノ爲ニ物資供給ノ

調整ノ必要ナルコトヲ認ムルニ咨カデハアリマセシガ、是ガ爲ニ此ノ權限ヲ主務大臣ニ白紙委任セバナラヌトハ、ドウシテモ思ハレナイノデアリマス、私ノ考ヘテ率直ニ申スナラバ、何故ニ政府、殊ニ經濟安定本部總務長官ハ、具體的ニ且ツ詳細ニ所謂基本政策及ビ計畫ノ内容ヲ前以テ發表シナイノデアリマスルカ(拍手)斯クノ基本政策ノ政策ヲ遂行スル爲ニ、是レノ物資ノ調整適當又ハ配給若シハ生産、工事ノ施行ガ必要ナルカラ、此ノ權限ヲ主務大臣ニ認メテ貰ヒ、或ハ是レノ基本政策及ビ計畫ノ實施ヲ確保スル爲ニ、斯クノ物資ノ讓渡、引渡、又ハ貸與ヲ主務大臣ニ認メテ貰ヒタイト言ハナイノデアリマス、民主的議會政治ノ原則ヲ守ル爲ニハ、少クトモ基本的な政策及ビ計畫ノ大綱ヲ示シテ後ニ、最も必要ナル一定ノ物資調整ノ權限ヲ認メルヤウ提案ノ順序ヲ按配スベキダト思フノデアリマス、然ル場合ニハ、我々モ亦此ノ權限ヲ認メルコトガ妥當ナルカドウカ、是ガ國民生活ニ果シテ好キ影響ヲ與ヘルカ否カラ検討スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、我々ハナゼ、基本的な計畫ノ内容ノ片鱗ヲモ知ラズ、且又ソレノ場合ノ物資需給調整ノ範圍、方法等ニ付キ、少シモ關知スル所ナク、國民生活ニ至大ノ關係アル物資需給ノ權限ヲ主務大臣ニ白紙委任スル必要ガアルノデアリマセウカ、政府ノ誠意アル御答辯ヲ求ムルモノデアリマス

民主的ナ政府ノ態度ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、御承知ノ通り形式的ニハ僅カニ三箇條ノ條文ガ我々ノ前ニ示サレテ居リマス、恐ラク之ニ附隨シテ數十條又ハ百條ニ上ル命令、施行規則ガ存在シ得ルヲ推定サレルノデアリマス、又之ニ依ツテ此ノ法律ノ適用サレル範圍、其ノ峻嚴ノ程度等ガ決定サレルト思フノデアリマス、私ハ法律ノ運用ニ付キマシテハ、多少ノ不便トギゴチナサガアツテモ、民主的議會ノ法律ハモット多クノ條文ヲ持ツ、内容ヲ確定シ、若シ又何カノ理由ニ依ツテ命令、規則ニ是ガ任サレルナラバ、是等同時ニ示スベキダト思フノデアリマス、所謂第三章ノ立法ハ、啓明的專制君主ノ立法デアツテ、民主的議會ノ立法デアラルト思ハレナイノデアリマス、之ニ付テノ政府ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

第三ニハ、經濟安定本部ノ構成ノ内容ト、民主的ニ組織サレタ産業團體ノ關係ニ付テ御尋ね致シマス、本法案第二條ニ於キマシテハ、「適當ノ實施ノ爲ニ必要且ツ適當と認める」と云ハ、民主的に組織された産業團體」云云ノ條文ガアリマス、此ノ法律案ノ作成者ニモ、民主主義ガ考慮サレテ居ル所ハ聊カ私ノ満足スル所デアリマス、併シナガラ此ノ適當實施ノ本元デアアル經濟安定本部其ノモノノ構成ハ、民主的ノモノトナルデアリマセウカ、既ニ申上ゲマシタ通り、金ニ付テハ細目詳細ニ議會ガ検討シ得ルヤウ、民主的議會政治ノ法令ガ具備サレテ居ルノデアリマスルガ、我々ノ生活ノ上ニハ金ヨリハ物、寧ロ金ヲ離レテ物ノ處分ガ重リタルコトハ稀有ノ事例デアリマス、且ツ最近ノ戰爭ニ依ツテノ出現シタ現象デアリマス爲メカ、議會ガ之ニ保ハリ得ル如ク法令ガ未ダ整備サレテ居ナイノハ洵ニ遺憾ト存ズル所デアリマス、隨テ經濟安定本部ノ構成運用ニ付テモ十分此ノコトヲ注意シツ、是ガ民主的ナルガ爲メ、即チ國民代表ノ意見ヲ徵シテ決定スル爲メ、特別ノ工夫ヲ凝ラス必要ガアルト思ヒマス、議長官ガ會テ發表サレタル經濟安定本部ノ構成ニ付キマシテハ、總理大臣、各省大臣、各省官僚、産業界ノ有識者、學識經驗者トカラ構成サレルトノコトデアリマスガ、一言ニ申上グルナラバ、是ハ官僚ト少數ノ「エキスパート」トガ主體トナルヤウニ窺ハレルノデアリマス、國民ノ聲、國民代表ノ意見ヲ如何ニシテ考慮サレルノデアリマセウカ、換言致シマスナラバ、政府ハ政策計畫ヲ議會ニ諮ツテ決定スル意思ト其ノ用意ガアルカドウカト云フ點デアリマス(拍手)例ハ物資需給調整ノ爲ノ物動計畫、生産力擴充計畫ヲ議會ニ諮ツテ決定シ

ガ中心ニナツテ綜合的ニ計畫シ、物動ハ其ノ補助的計畫ノ一ツダト思フノデアリマスガ、併シ茲ニ眞先ニ、而モ單獨ニ物資ノ需給調整法ヲ提出サレタノハ、一體如何ナル理由デアリマスカ、私ハ依然トシテ物動中心ノ官僚的癖ガ抜ケレナイ結果ダト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ノ御所見ヲ承リマス、斯様ニ綜合的見地ガ缺ケテ居リマスルガ故ニ、例ハ第四條ニ議院所「第一條第一項ノ規定による命令に違反した者は、これを十年以下の懲役又は十萬圓以下の罰金に處する。」ト云フ罰則規定ヲ勵行致スニ付テモ、是ガ無意義又ハ無理ナモノトハナラナイデアリマセウカ、生産ノ命令ヲ受ケタ者ハ必要ナル資金、勞働力等ヲ何處デ得ルノデアリマセウカ、又各部門ノ間ノ生産ノ振興ノ調和ガ保障サレテ居ルノデアリマセウカ、結局産業ノ回復調整ノミナラズ、資金、勞働力、生産ノ調整等ニ付テ、綜合的計畫ノ爲ノ各種ノ立法ガ必要ナルデアリマス、而シテ各種ノ立法ニ付テ此ノ臨時物資需給調整法ノ如ク、各主務大臣ニ廣汎ナル權限ヲ白紙委任スルコトヲ規定スレバ、茲ニ再ビ國家總動員法ガ薄化粧シテ復活スルノデアリマシテ、民主的議會政治ハ重大危機ニ瀕スルノデアリマス、政府ハナゼ物資需給調整法ヲ提出シタノデアリカ、又順次ニ労働基準法ヲ來ル議會ニ提出スルトノコトデアリマス、是等ハ同時ニ提出スベキダト思ヒマス、此ノ場合同様に先ツ政策計畫ノ内容ヲ示シ、之ニ附隨シテ政策計畫ノ必要ナル一定ノ調整權限ヲ認メサレルコトヲ妥當トハ思ハナイカドウカ、此ノ點明確ニ御答

へ願ヒタイノデアリマス
最後ニ御尋ね致シタイ點ハ、安定本部ノ性格ト新憲法トノ關係ニ付デアリマス、戰時中ノ統制團體ハ官僚退陣ノ地給山ナリシコトハ何人モ認ムル所デアリマス、權力ノ蔭ニ隠レタル官僚ノ見エザル力ニ、民間ノ隠レタル力ハ完全ニ封鎖サレテ、封建制度其ノモノデアツタノデアリマス、今般創立ノ經濟安定本部ハ、莫大ナル豫算ヲ計上シテ居ルガ、之ヲ如何様ニ消費セントスルノカ、雖テ數百萬ノ人ニモ及バンストル失業者ヲ餘所ニ、官僚退陣ノ失業救済費ナノカ、ソレトモ又民生安定ノ爲ノ綜合計畫實施機關ニ最も有効ニ消費セントスルモノカ、其ノ性格ノ大要ト、併セテ雖テ實施サレントスル新憲法トノ關係ニ付テ、率直ニ而モ明確ニ宣明サレンコトヲ求ムルモノデアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス(拍手)
〔國務大臣(星島二郎君登壇) 先程山中君ノ御質疑ニ對シテ御ヨリ申上ゲタ次第デアリマシテ、其ノ心構ヘニ於キマシテハ一應鈴木君ト同感スル點ガ多ク、併シナガラ鈴木君モ御承認ノ如ク、今日ノ物資ノ需給不均衡ノ點、是ハ何トカセナケレバナラナイ、其ノ調整ハヤラナクチャナラヌト云フコトノ前提ハ御認め下サツタ、唯ソレヲ一々ニ付テ法制化シテ議會ニ諮ル、出來ルモノナラバ私モサウシタイト思フノデアリマス、併シ如何セシ今日ノ物資ノ品目順ニ並ベテ見マスレバ、數千、或ハ數萬ヲ以テ算ヘマス、併シ其ノ中、貿易ハ今日ハ國家管理デアリマシテ、輸入ヲ要請シマシテモ、何時ドウ云フ物ガ輸入サレルカ分リマセヌノデ、サウ云フモノニ付キマシテ之ヲ生産ノ上ニ計畫

性ヲ持タセ、配給ノ上ニ適正ヲ堅持セ
ント致シマスレバ、ドウシテモ或ル種
ノ法律ヲ必要ト致シマス、ソコデ本來
カラ言ヒマスレバ、私ハ電氣事業ト石
炭、「コークス」ハ獨立シテ法律デ皆樣
ノ御協賛ヲ仰ギタイト思フテ居リマ
ス、其ノ他ノモノモ事々物々ニ付テ皆
樣ノ御協賛ヲ求ムルコトガ本當ハ民主
的カモ知レマセス、併シハ不可能ノ
コトニ屬スルノデス、七月十五日ヲ以
テ輸入等ノ臨時措置令ハモウ消エテ居
リマスシ、先程申シタヤウニ總動員法
モナクナツテシマツタ今日ハ、何カシ
ラ之ニ代ルモノガナケレバナラス、代
ルニ付テハ、從來ノヤウナ官僚統制、
指導者原理、斯カルモノハ一掃シナケ
レバナラスコトハ鈴木君仰セノ通りデ
アリマス、ソコデ安定會議ニ掛ケマシ
テ、其ノ安定會議ニハ少クモ各位ノ代
表者ガ加ハル譯デアリマス、ソレニ依
ツテ基本ヲ決メマシテ、之ヲ實際ニ行
フノハ主務大臣デアリマスルガ、而モ
ソレハ勝手ニハ出來ナイ、ソレハ「民
主」の團體ニ託シテ之ヲ實施スル、斯
樣ナ所マデヤリ、ソコマデ用意ヲシテ
行キマスレバ、私ハ此ノヤウナ非常時
ニハ決シテソレ自體モイカスト云フコ
トハ言ヘナイノデハナイカ、民主的政
治ト云フモノハ、或ル程度マデハ信頼
政治デナクチャナラス、議長ヲ選舉シ
テ一旦信任シマシタカラニハ、其ノ議
長ノ命令ハ、現議員全部ノ人ガ議席デ
ソレヲ守ルト云フコトガ、私ハヤハリ民
主政治デアリト思ヒマス、政府モ、
一體政黨政治デアツテ、選舉ニ依リ力
ヲ決シタモノニ依ツテ作ラレルト云
フ、其ノ本來ノ姿カラ考ヘマスレバ、
餘リ好マシクナイ法律デアリマス
ガ、私ハヤハリ此ノ程度ノ委任ハ今後ノ

民主政治ニモ行ハレテ然ルベシト考ヘ
ル(拍手)デスカラ、ヤリタクハナイケ
レドモ、斯ウ云フ非常時ニハ私ハ斯ウ
云フモノガ必要ダト考ヘマスノデ、ド
ウゾ其ノ點ハ鈴木君モ諒ト致サレマシ
テ、是ハ決シテ舊來ノ戰時中ノヤウナ
型デハヤラナイ、常ニ御相談ヲシツ、
ヤルモノデアアル、斯樣ナ考ヘデ御願
シタイト思フノデアリマス
尙ホ此ノ民主的ノ團體トハドンナ團
體ダ、今後出來マス産業民主的團體ト
ハ、少クモ加入脱退ガ自由デアアル、
其ノ幹部ハ選舉ニ依ツテヤル、之ヲ原
則ト致シテ居リマス、昨今統制會社其
ノ他ガ段々解消サレマシテ、其ノ中心
人物、經營者ハ全部選舉ニ依ツテ決メ
マスシ、加入脱退ハ自由トナツテ行
ク、一ツノ例ヲ舉ゲテ見マスレバ、鐵
道協會トカ、石炭業會トカ、段々改組
サレマシテ、本當ノ民主的團體ナラバ
之ニ相當等ヤル、斯樣ナ考ヘデアリ
マスカラ、全體ノ人ガ眞ニ心構ヘガ直
ツテ來マシテ、ソレ自體ノ團體ガ本當
ニ民主的ニナツテ參リマスレバ、私ハ
從來ノヤウナ、所謂戰爭中ノ弊害ハ除
去出來ルノデアアル、併シ鈴木君ノ御尋
ネノ心構ヘニ付テハ、十分注意シテヤリ
タイト思ヒマスカラ、ドウゾ惡シカラ
ズ御諒承願ヒマス(拍手)

テ、附言ヲ致シタイト存ジマス、本法
ヲ動カシマスニ付キマシテハ、安定會
議ヲ經テ、如何ナル品種ニ付テ、如何
ナル場合ニ、如何ナル統制ヲ行フカト
云フコトハ、事毎ニ掛ケルノデアリマ
スルガ、此ノ安定會議ノ性格ヲバ極ク
民主的ニスル爲ニハ、單純ニ是ガ官廳
ノ責任回避ノ諸機關ニ墮スルコトノ
ナイヤウニ、其ノ構成ノ部分ニ於キマ
シテモ、貴衆兩院ノ議員、又所謂學識
經驗者ト云フヤウナ方面、是ハ勿論實
際ノ事業ニ當ル人モ入りマスケレド
モ、尙ホ其ノ他ニ、例ヘバ新聞等ノ輿
論ヲ代表スル機關ノ代表者、又勞働ヲ
代表スル方々、又使用者ヲ代表スル人
人、斯ウ云フヤウナ達ヲモ網羅致シ
マシテ、此ノ運用ガ或ハ官廳ノ獨善ニ
流ル、コトナキヲ期スル積リデゴザイ
マス、尙ホ安定本部ノ性格及ビ運用ニ
付キマシテモ御尋ネガゴザイマシタガ、
是モ數次御答ヘヲ致シテアリマスノ
デ、重ねテ申上ゲマセヌ

此ノ安定本部デ研究シマシタ結果ニ
付テ、議會ニ諮ルカト云フ御尋ネガゴ
ザイマシタガ、勿論本法ノ運用ニ付キ
マシテハ、安定會議ニ付議致シマシテ
之ヲ運用スルノデアリマスルガ、安定
本部ガ研究シマシテ施策ヲ要スル事項
ニ付キマシテ、議會ニ諮ルベキモノハ
勿論之ヲ議會ニ諮ツテ具體化シタイト
思フノデゴザイマス
○鈴木明良君 必ズシモ満足スル答辯
デハアリマセヌガ、他ハ委員會ニ議
リ、私ノ質疑ヲ打切りマス
○副議長(木村小左衛門君) 加藤鑄造
君

致シマシテ、只今上程中ノ臨時物資需
給調整法ニ付テ質疑ヲ致シタイト存ジ
マス
本法案ハ既ニ前質問者モ申サレマシ
タ通り、全文僅カニ六條、實質的ニハ三
條ニ過ギナイ所ノ極メテ簡單ナ法案デ
アリマス、併シ其ノ企圖スル所ハ日本
ノ全物資ヲ動カシ、全生産ヲ指導シヨ
ウトスル所ノ、極メテ廣汎ナ權限ヲ持
ツタ委任法デアリマス、隨テ再建日本
ノ運命ハ僅カ此ノ三條ノ法文ノ上ニ託
サレテ居ルト言ツテモ宜イト思フノデ
アリマス、戰時ノ總動員法スラ百條ニ
餘ル所ノ條文ヲ具ヘテ、其ノ内容ニ於
キマシテモヨリ具體的デアリマシタ、
併シ此ノ法案ハ極メテ抽象的デ、一回
ヤニ回讀シテ見タケデハ、其ノ眞意
ヲ捕捉スルコトガ困難デアリマス、例
ヘバ中ニ何ヲ容レルカ分ラナイノニ箱
ヲ造ルト云フヤウナモノデ、中ニ容レ
ルモノノ性質ガ分ラナクテハ、ドンナ大
キサノ箱ヲ造ツテ宜イカ見當ガ付カナ
イノデアリマス、實ニ斯ウシタ極メテ
奇怪ナ非民主的ナ法案デアリマス、併
シ私ハ、此ノ點ニ付キマシテハ既ニ二
人ノ質問者ニ依ツテ質問サレテ居リマ
スルノデ、質問ヲ省略致シマシテ、以下數
項ノ點ニ付キマシテ政府ニ質問ヲ試ミ
テ、其ノ眞意ヲ質シテ見タイト考ヘルノ
デゴザイマス、私ハ國務大臣、商工大
臣、農林大臣、厚生大臣、内務大臣ニ質
問致シタイト存ジマスルカラ、議長ニ於
カレマシテハ、出來ルダケ大臣ノ出席ヲ
御要求願ヒタイト思フノデアリマス
第一ニ國務大臣ニ御尋ネヲ致シマ
スルガ、經濟安定本部ハ如何ナル方針
ヲ以テ産業振興ノ基本的ナ方策ヲ立テ
ヨウトシテ居ラル、カト云フコトデア

リマス、此ノ點ニ付キマシテハ既ニ質
問ガアリマシタガ、多少觀點ガ違ヒマ
スノデ、改めて質問致シテ見タイト考
ヘルノデアリマス、日本ノ再建ハ産業
ノ再建デアルノデアリマス、隨テ日本
再建ノ目的ノ爲ニ、最モ有効適切ナル
産業振興ノ根本對策ヲ樹テナケレバナ
ラナイノデアリマス、國務大臣ハ、
先般來機構ヨリモ生産ガ第一ダトカ、
或ハ「イズム」ニ因ハレルトナク實際
的ニヤツテ行キタイ、斯ウ云フヤウナ
コトヲ屢々言ツテ居ラレルノデアリマ
スガ、私ヲシテ言ハシメルナラバ、是
ハ革新ヲ否定スル所ノ遁辭トシカ思
レナイノデアリマス(拍手)「イズム」ト
ハ、決シテ現實ヲ離レタ高遠ナ理想ヲ言
フノデアナク、一ツノ體系ヲ言フノデ
アリマス、隨テ生産ヲ第一トスル爲ニ
ハ、最モ有效ナ機構ヲ作ルコトガ先決問
題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、
ソコデ其ノ生産體制ヲ作ルニハ二ツノ
方法ガアルト思ヒマスガ、一ツハ、自由
主義的資本主義的經濟ヲ根幹トシテ、
ソレニ多少ノ掣肘ヲ加ヘテ、即チ修正
資本主義デヤツテ行クカ、或ハ一ツ
ハ社會主義的計畫經濟デヤツテ行ク
カ、其ノ何レカヲ選バナケレバナラ
ナイト思フノデアリマス、私ハ敗戰日
本ガ、狹隘ナ國土ニ於テ、乏シイ資源
ヲ以テ國家ノ再建ヲ圖ラウトスルニ
ハ、日本ノ經濟ハ高度ナ計畫性ヲ持ツ
タモノデナケレバナラスト思フノデア
リマス、併シ計畫經濟ハ、資本ノ安定、
即チ資本家擁護ノ爲ニモヤルコトガ出
來ルノデアリマス、又國民生活ノ安定
ノ爲ニヤルコトモ出來ルノデアアル、先
程國務大臣ハ國民生活ノ安定ノ爲ニ

ヤルノダト云フコトヲ仰シヤイマシ
タ、然リト致シマスナラバ、私ハ今日
執ルベキ政策ハ、社會主義政策ヲ徹底
サセル以外ニハナイト考ヘルノデアリ
マス(拍手)政府ハ先ヅ是等ノ根本ノ問
題ヲ決定シテ掛ラナケレバナラナイト
思フノデアリマス、終戦後自由主義經
濟ニ戻セト云フ要求ガ一部ニアリマ
ス、併シ自由主義經濟ト云フモノハ、
先程モ申シマシタヤウニ、物ノ豊富ナ
國デナケレバ成立タナイノデアリマ
ス、戰勝國デアル所ノ「イギリス」ニ於
テサヘ、今日計畫經濟ヲ強化シツ、ア
ルデハアリマセスカ、日本ノヤウナ物
資ノ乏シイ、而モ敗戰國トシテ莫大ナ
生産力ノ負擔ヲ負ハサレテ居ル國ニ於
テ、自由主義經濟ヲ謳歌スル所ノ議論
ト云フモノハ、ハ全ク兒戲ニ等シイ
議論デアルト考ヘルノデアリマス(拍
手)例ヘバ極端ノ例ト致シマシタハ、
米ノ統制ヲヤメテ自由販賣ニセヨト云
フヤウナ議論ガ、此ノ議會ニ於キマシ
テモ自由黨ノ諸君カラ主張セラレタ
デゴザイマス、併シサウシタナラバ
ウナリマス、一部ノ人ハ滿腹出來ルデ
アリマセウケレドモ、國民ノ多數ハ餓
死シナケレバナラナイノデアリマス、
現在ノ日本ニ於テ自由主義經濟デヤツ
テ行カウトスルコトハ、一部少數ノ資
本家ニ利潤追求ノ自由ヲ與ヘル代リ
ニ、大多數ノ勤勞大衆ニ餓エルコトノ
自由ヲ與ヘル以外ノ何モノデモナイノ
デアリマス、私ハ、政府ガ斯ウシタ點
ニ付キマシテ、果シテ何レノ方針ヲ執
ラウトシテ居ラレカト云フコトヲ先
ヅ御伺ヒ致シタイノデアリマス

大臣ト農林大臣、内務大臣ニ御伺ヒ致
シタイノデアリマス、將來ノ日本ノ工
業ヲ國內資源ノ範圍ニミ限定サレタ
ナラバ、最早日本ハ工業國トシテハ立
ツテ行ケナイノデアリマス、ノミナラ
ズ國民生活ノ維持スラ出來ナクナルノ
デアリマス、隨テ或ル程度ノ原料ノ輸
入ヲ外國カラ仰ガナケレバナリマセ
ス、其ノ場合ニ輕工業ノ加工工業ヲ主
トシテヤツテ行カ、或ハ精密機械工
業、工作機工業、更ニ一般工業等モ
許サレノデアアルカドウカ、其ノ見透
シニ付テ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、
日本ハ輕工業ニ於キマシテ、幾多世界
ニ誇ルベキモノヲ持ツテ居ツタノデア
リマス、例ヘバ綿糸業ヲ以テ立チ得ル
ト致シマシタナラバ、之ヲ以テ日本ノ
經濟ノ支柱トスルコトガ出來ルト私ハ
思ヒマス、又陶磁器、和紙等モ、今後
相當長キニ互ツテ日本獨得ノ産業トナ
リ得ルノデアリマス、自轉車工業、時
計等モ、其ノ技術ニ於テハ既ニ世界最
高水準ニ達シテ居ツタト私ハ考ヘルノ
デアリマス、併シ私ハ高度ナ文化國家
ノ建設ト云フ面カラ考ヘマスル時ニ、
單ニ斯ウシタ輕工業、或ハ家内工業式
ナ工業ノミデハナクシテ、更ニ精密機
械工業、工作機工業、重工業等モ大イ
ニ發達サセナケレバナラナイと思フ
デアリマス、固ヨリ是等ノコトハ聯合
國ノ諒解ナシニハ計畫ハ立テラレナイ
ノデアリマス、併シソレニ藉口シテ在
舊日ヲ空シクシテ居ツタナラバ、日本
ハ再び起ツ所ノ力ヲ失ツテシマフノデ
アリマス、隨テ一日モ早ク是等ノ基本
的ナ方針ヲ決定スルコトガ必要デアル
ト思ヒマスルガ、之ニ對スル所ノ政府
ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス、又食糧ノ
自給計畫ヲ樹立スルコト云フ上カラ、農

村工業ノ發展ヲ圖ラナケレバナラナイ
ト思フノデアリマスルガ、政府
ノ此ノ點ニ對スル所ノ計畫ヲ御
伺ヒ致シタイと思ヒマス、從來
工業ハ餘リニモ都市偏在デアリマ
シテ、隨テ其ノ爲ニ都市ト農村ハ常ニ
對立スルコト云フ結果ニナツテ來タ
デアリマス、此ノ工業ノ都市集中ヲ抑
制シテ、工業ノ地方分散ヲ圖リ、農業
ト工業トガ並立スル所ノ新農村計畫ト
云フモノヲ立テルコトガ必要デアルト
思フノデアリマス、農家ガ其ノ經濟ノ
基礎ヲ米價ニミ置クト云フ從來ノ農
家經濟ノ危險ト云フモノハ、從來屢
起ツタ所ノ農業恐慌ノ經驗ニ徴シテモ
明カデアリマス、今回ノ政府ノ開發計
畫ニ付キマシテモ、熟農ガ寧ロ懷疑的
デアアルノモ、米ガ出來過ぎタ爲ニ首ヲ
縊ツテ死ンダ百姓ガアルト云フ、資本
主義經濟トニ於ケル所ノ農家經濟ノ矛
盾ト云ツタモノヲ彼等ガ知ツテ居ルカ
ラデアリマス、農業生産ハ其ノ性質
上、社會主義經濟トニ於キマシテモ、
完全ナ需給ノ「バランス」ノ上ニ立ツ
云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソ
レデアリマスカラ私ハサウ云フ農家
經濟ノ安定化ト云フ上カラモ、農村工
業ノ發達ト云フコトガ必要デアルト考
ヘルノデアリマス、農林大臣ガオイデ
ニナリマセスカラ、農務大臣或ハ其
ノ他ノ農林省ノ政府委員カラ、此ノ點
ニ付キマシテ具體的ナ御答辯ヲ御願ヒ
シタイと思ヒマスルガ、農村ニ於ケル
工業ガドウ程度マデ成立ツカト云フ點
デアリマス、農村ノ工業化ハ必然的
ニ農村技術ノ向上ト機械化ガ伴ハナケ
レバナラナイノデアリマスルシ、又農
村ノ經濟組織ノ根本的ナ變革ガ必要デ
アルト思フノデアリマス、ソレニハ農

村ニ於ケル所ノ生産協同體ノ組織ト云
フモノヲ確立シナケレバナラナイト私
ハ思フノデアル、ソレニ依ツテ農村ノ
副業的工業ノ高度ナ工業生産ヘト發展
サセテ、サウシテ初メ農業一體トナツ
タ所ノ日本經濟再建ノ安定セル基盤ガ
確立スルと思フノデアル(拍手)此ノ問
題ニ付テ具體的ナ詳細ナ御意見ガ承
リタイト存ズルノデアリマス、又其ノ
點ニ付キマシテハ、國土計畫ノ上カラ
此ノ問題ヲドウ云フ風ニ取扱ハウトシ
テ居ラレカ、都市ト農村ノ人口ノ配
分、先程ノ御質問ニモアリマシタガ、
斯ウシタ點ニ付テ内務省ハドウ云フ方
針ヲ執ツテ居ラレカ、又其ノ方針ヲ
立テル上ニ於キマシテ、産業計畫ト配
ミ合セテ、商工、農林其ノ他ノ各省ト
緊密ナ連絡ヲ執ツテヤラレカドウカ
ト云フ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

第三ノ質問ハ、是モ農工大臣ニ御伺
ヒ致シマスガ、現在生産ニ向ケ得ル所
ノ物資ガドレダケアルカト云フコトデ
アリマス、物資ノ生産ガ殆ど停止サレ
テ居ル今日、現在アル所ノ物資ヲ出來
ルダケ生産面ニ動カシテ行カナケレバ
ナラナイト思ヒマスガ、此ノ點カラ私
ハ摘發サレタ隱匿物資ノ隊働率ト云フ
モノガ問題デアルト思フノデアル、先
般政府ハ隱匿物資ノ數量ヲ發表サレマ
シタガ、其ノ何割ガ再生産ニ向ケ得
ルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイノデア
ル、ソレト同時ニ隱匿物資ノ摘發ガマ
ダ不十分デアル、徹底シテ居ラナイ、
實態調査マデ行ハナケレバ隱匿物資ノ
正確ナ數字ト云フモノハ現ハレテ來ナ
イト思フノデアリマスルガ、政府ハソ
レヲ行フ所ノ意思ガアルカドウカト云
フ點ヲ御伺ヒ致シマス

第四ニ農務相ニ御伺ヒ致シマス
ルガ、經濟安定本部總裁ハ、物資ノ割
當又ハ配給、物資ノ生産若シクハ禁
止、物資又ハ設備ノ譲渡、引渡又ハ貸
與等ニ關スル廣汎ナ方策ヲ決定スルコ
トニナツテ居リマスルガ、是ハ實ニ國
民經濟ノ運命ヲ決スル所ノ重大ナ仕事
デアリマス、政府ハ之ヲ如何ナル組織
方法ニ依ツテ行ハントシテ居ルノデア
ルカ、戰時中ノ總動員法ノ如ク、單ナ
ル官僚ノ指導ニ依ツテ之ヲ行ツテ行ク
ト致シマシタナラバ、再び失敗ヲ繰返
スノミデアル、私ハ國民ノ衆智ヲ集メ
テ、最モ民主的ナ方法ニ依ツテ行ハナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、先程
モ民主的のニヤツテ行クと言ツテ居ラ
シタガ、其ノ民主的のニヤツテ行ク所
ノ具體的ナ方法ト云フモノガ問題デア
ルト思フノデアル、第一ニ秘密主義ヲ
捨テテ、事實ト數字ヲ正確ニ國民ノ前
ニ發表シ、國民全體ノ協力ヲ求メルト
云フ方法デナケレバナラナイと思フ
デアリマス、政府ハ之ヲ實行スルニ當
ツテ經濟安定會議ヲ設ケルト云フコト
ヲ只今仰シヤイマシタガ、ソレハ單ナ
ル從來ノヤウナ諸機關關ハ駄目ダト
私ハ考ヘルノデアリマス、強力ナル執
行權、監督權ト云フモノヲ持ツタモノ
デナケレバナラヌト思ヒマスルガ、其
ノ點ニ付テ政府ノ方針ヲ御伺ヒ致シ
マス

第五ニ民主的の組織サレタ團體トハ
如何ナルモノカ、是モ農務相ニ御伺
ヒ致シマス、既ニ先程此ノ點ニ付テ
質問ガアリマシタガ、私ハ問題ハ戰時
ニ於ケル所ノ統制經濟ノ經驗ニ徴シマ
スルト、只今法文ニ載ツテ居ル所デハ、
民主的の組織サレタ團體ニ物資ノ割當
ヲ委任スルコトナツテ居リマスガ、此ノ

種ノ團體ト云フモノガ常ニ大衆ノ利益ヲ蹂躪シ、屢ニ統制經濟ヲ歪曲シテ、極メテ非能率のナモノニシテ、來テ居ルノデアリマス、幾多ノ統制會社ヲ統制組合ハ、一部ノ官僚ト惡徳業者ノ結託ニ依ツテ、不正利得ノ巢窟トナツテ、大衆ヲ搾取シテ來タコトハ周知ノ事實デアリマス（拍手）隨テ問題ハ、政府ハ此ノ種ノ團體ノ不正逸脫行為ヲ如何ニシテ防止セラレカト云フ點ニアルト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御伺ヒヲ致シマス

第六ニ國務大臣ニ御伺ヒ致シマスルガ、法文ノ中ニ主務大臣ハ「物資の割當の決定の變更」ヲ命ジ、又「當該官吏に必要な場所に臨檢し、業務の狀況若しくは帳簿、書類其の他必要な物件を檢査させることができる。」トアリマスルガ、私ハ之ヲ行フニハ、生産査察ガ十分ニ正シク行ハレナケレバナラナイト思フノデアリマス、戰時中此ノ査察ガ不徹底デアツタト云フコトガ、生産減退ノ大キナ原因デアツタコトモ公知ノ事實デアリマス、能力ノナイ一部ノ官吏、軍部ニ依ツテ是ガ行ハレ、而モ事業家ノ懷柔政策ニ依ツテ、全ク骨抜キニサレテ來タノデアリマス、此ノ査察ハ實際ニ能力ノアル者ヲシテ極メテ良心的ニ行ハセナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、此ノ仕事ハ單ニ官吏ノミニ任セズ、先ニ述べマシタヤウナ、官民ヲ以テ組織サレタ所ノ監督機關ニ依ツテ嚴重ニ行ハセナケレバナラナイト思ヒマスルガ、政府ノ所見ヲ御伺ヒ致シマス

第七ニヤハリ國務相ニ御伺ヒ致シマスルガ、本法案ノ中ニハ、生産サレタ物ノ配給ニ關スル規定ガナイノデアリマス、是ハ私ハ片手落チデハナイカ

ト思ヒマス、如何ニ物資ノ割當又ハ配給ガ統制サレテ居リマシテモ、生産サレタ物ノ規正ガ行ハレナカッタナラバ、産業全體ノ計畫性ト云フコトハ保テナイト思ヒマスルガ、此ノ點政府ハ如何ニ考ヘラレカ、御伺ヒヲ致シタイト存ズルノデアリマス

第八ニ、是ハ國務大臣ト厚生大臣ニ御伺ヒヲ致シマスルガ、物資ノ生産制限若シハ禁止及ビ物資又ハ設備ノ讓渡、引渡又ハ貸與ヨリ生ジタ損害ヲ國家ガ補償スルト云フコトヲ言ツテ居リマスルガ、是ハ事業家ノ損失ノ補償ノミヲ意味スルノカ、或ハ是ガ爲ニ失業其ノ他ノ損害ヲ蒙ツタ労働者ノ損失ヲモ此ノ中ニ含ンデ居ルノカドウカ、若シ含マナイト致シマスナラバ、別ニ之ニ對スル施策ヲ政府ハ考ヘテ居ルカドウカ、此ノ場合ノ對策ト致シマシテハ、單ニ失業手当ヲ支給スルバカリデハナクシテ、出來ルだけ新タナ生産事業ニ向ケナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、場合ニ依ツテハ其ノ爲ニ新シキ事業モ起サナケレバナラナイト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス

第九ニ、是ハ國務相ト厚生大臣ニ御伺ヒ致シマスルガ、産業ノ民主化ト如何ニシテ徹底サセカト云フコトデアリマス、今マデ御質問ノ中ニモ民主化ト云フコトハ屢ニ申サレマシタ、又御答辯ノ中ニモ民主化ト云フコトガ屢ニアリマシタ、併シナガラ如何ニシテ民主化スルカト云フ具體的ナ御答辯ハ、政府カハナカッタウニ思フノデアリマス、只今モ總動員法トハ目的ガ違フカスラ官僚のニハナラヌ、民主化サレル、斯ウ云フコトヲ仰シヤイマシタガ、私ハ目的ガ違フデケデハ民主化ニハナラ

ナイト思フ、民主化スル所ノ手段方法ト云フモノガ、具體的ニ執ラレナケレバナラナイト思フノデアリマス、又一方ニハ官僚の統制經濟ト民主的ナ計畫經濟トヲ混同シテ批判スル人々ガ往々ニアリマスガ、私ハ是モ甚ダシイ認識不足デアルト考ヘルノデアリマス、私ハ既ニ前段ノ質問ニ於キマシテ、過去ノ官僚統制ノ弊ヲ斷片的ニ指摘シテ參リマシタ、官僚統制ノ缺點ト云フモノハ色々アリマスガ、第一ニ技術ノ貧困ト云フコトデアリマス、體系ダケハ整然トシテ整ツテ居リマススケレドモ、技術面ノ指導力ト云フモノガ缺ケテ居ル爲ニ、此末ナ規定ニノミ囚ハレテ、徒ラニ書類行政ニ墮シテシマツタト云フ點ニ、私ハ官僚統制ノ大キナ缺點ガアルト思フノデアリマス、斯ウシタ弊害ヲ一掃シテ、眞ニ計畫經濟ノ成果ヲ擧ゲル爲ニハ、徹底的ナ産業ノ民主化ヲ圖ラナケレバナラナイト思ヒマスガ、從來ノ統制ハ官僚指導スルモノダ、或ハ國營事業ハ役人ガ仕事スルノダト云フ概念ヲ棄テテ、全國民ノ協力ヲ求メル爲メ體制ヲ確立シナケレバナラナイト思フノデアリマス（拍手）生産第一主義ヲ執ルナラバ、先ツ第一ニ労働者ノ協力ヲ求メナケレバナラナイト思フノデアリマス、労働者ノ經營參加ト云フコトガ屢ニ問題ニナツテ居リマスガ、私ハ労働者ノ經營參加ト云フコトハ、單ニ爭議ノ場合ノミデハナクシテ、恒常的ナ參加權ヲ認メナケレバナラナイト思フノデアリマス、労働者ガ經營ニ參加スルト云フコトハ、成程大キナ經濟的ナ變革デアアルノデアリマス、併シ古來經濟的變革ヲ伴ハナイ所ノ革命ハナカッタノデアリマス、日本ノ今日ノ民主革命ハ、當然經濟革命カ

ヲ始マラナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、口ニ民主主義ヲ唱ヘナガラ、經濟問題ニナルト、口ヲ拭ツテ居ル所ノ人々ノ言ト云フモノハ、是ハ所謂口頭禪ニ過ギナイト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）日本ノ經濟革命ハ労働者ヲ經營ニ參加サセル、サウシテ生産第一主義ヲ執ルナラバ、私ハ是レ以外ニハ方法ハナイト斷言シテモ宜イト考ヘルノデアリマスガ（經營協議會ガアルト呼ブ者アリ）政府ハ之ヲ行フ意思アリヤ否ヤ、若シアリトスルナラバ、單ニ經營協議會ト云フヤウナ諮問的機關デハナクシテ、法律ニソレヲ確立スル所ノ方法ヲ執ラナケレバナラスト思フ、即チ法律ノ改正ニマデ及バナケレバナラナイ、商法ノ改正、株式會社法等ノ改正ヲ致シマシテ、サウシテ法律的ニ之ヲ確立シナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス（拍手）

國務大臣（勝田之助君答）御答ヘ致シマス、第一番ノ私ニ對シマスル御質問ハ、一體經濟安定本部ハ「イデオロギー」ヲ持ツテ居ルカ、社會主義デ行クノカ、資本主義デ行クノカ、之ヲ決メナケレバ行ク道ハ決ラヌデハナイカト云フヤウナ意味合ノ質問ト承リマシタ、私自身ノ個人ノ意見ハゴザイマスガ、是ハ中上ゲマセス、經濟安定本部ト致シマシテハ、日本ノ現在ノ狀態ヲ見テ、之ヲドウ動かスカヲ考ヘルノデアリマス、今、日本ノ社會ハ、社會主義ノ實現サレタ社會デモナク、マダ資本主義ノ形ガ残ツテ居ル、是ガ修正サ

レツ、アル狀態ダラウト思ヒマス、隨テ資本主義ガ社會主義的ニ、社會政策的ニ修正サレツ、アル此ノ現實ノ姿ヲ見テ、ソコデ如何ナル方策ヲ執ルベキカト云フコトヲ決定スルノガ安定本部ノ任務ダト存ジマス、私ノ個人ノ意見ハ他ノ機會ニ申上ゲルコトゴザイマセウ

次ニ物資ノ割當、配給等ハ民主的ニ行フト云フガ、ドウ云フ方法デアルカ、斯ウ云フ御尋ネデアツタト思ヒマス、先程申シマシタ通り、如何ナル物資ヲ統制スルカト云フコトハ安定會議決定マシマス、此ノ安定會議ノ組織ノ極メテ民主的デアルト云フコトハ先程申上ゲマシタ、尙ホ之ニ付議スベキ原案ハ、官僚ノ所産デハナイヤウニスル積リデ居リマス、現在モ物資ノ割當、配給ノ所謂勸助計畫ガ行ハレテ居リマシテ、恐ラクハ安定本部デ之ヲ引繼グモノト存ジマス、此ノ計畫ヲ致シマス時ノ構想ト致シマシテハ、今私共ハ學者及ビ實際ノ統計、斯ウ云フヤウナ學者ノ學術的ノ研究ヲ基礎ニ致シマシテ、其ノ上ニ安定本部ニハ、色々ノ部ニ部長初メ部員或ハ參與ノ名前ヲ以テ各方面ノ實際家ヲ多ク入レテ居リマス、斯ウ云フ人達ノ實際的ノ檢討ヲ經マシテ、豫メ一定ノ計畫ヲ立テマシテ、尙ホソレヲ廣ク集メマシタル安定會議ニ付シテ決定スル積リデ居リマス、或ル一部分ノ官吏ノ一群、或ハ一部分ノ人士ガ所謂官僚的ニモノヲ定メテ、之ヲ按分スルト云フヤウナコトハナサナイ積リデ居リマス

ソレカラ生産ノ點ニ付テモ統制ヲ行ハナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマスルガ、今回ノ物資需給調整ハ出來タ物ノ割當、配給ヲ行フノデ、割當、配給

ニ付テハ、強權ト申シマスガ、命令ヲ致シマスガ、生産ヲ命令スルト云フコトハ、又別個ノ特別ノ場合ト存ジマス、第一條ノ第一項ノ第二號ニ生産ヲ命令シ得ル場合ガ書イテアリマスルガ、是ハ容易ニ使用スベキモノデナク、色々ノ事象ヲ考ヘタ上ニ行フベキモノデアリマシテ、安定本部ノ決定スルモノト致シマシテハ、割當及ビ配給ヲ第一義ノ仕事ト致ス積リデゴザイマス、次に設備ノ譲渡ヲスル場合ニハ、設備ノ物のノモノバカリニ賠償スルノデナク、之ニ附屬シテ居ル勞務者ノ失業ノアツタ場合ニ之ヲドウスルカト云フ御尋ネデアリマスガ、此ノ第三號モ普通ニ使フ問題デハアリマセス、或ハ隱退或ハ死蔵サレテ居リマスル物資或ハ設備ヲ有効ニ働カセル場合ノ、謂ハバ傳家ノ寶刀ノ規定デアリマス、斯ウ云フモノハ無闇ニ使フベキモノデハナイト存ジテ居リマス、隨テ斯ウ云フモノヲ使フ場合ニハ、死蔵或ハ遊休ノ施設ヲ動カスノデ、別ニ勞働問題ハ起キナイト存ジマス

ソレカラ最後ニモウツ勞働者ノ經濟參加問題ヲドウ考ヘルカト云フコトデアリマスガ、是ハ私ノ御答ヘスル直接ノ問題デハナイカモ知レマセスケレドモ、經濟安定本部ノ、恒久的トモ申ス程デモアリマセスケレドモ、相當重大ニ今研究シ掛ツテ居ル問題ニ、經濟民主化ト云フ問題ガゴザイマス、是ハ何レモガ爲ニ特別ノ委員會ヲ作りマシテ、私ノ方デ研究ヲ進メタイト存ジテ居リマスガ、此ノ經濟民主化ト云フ問題ハ、大體財閥其ノ他ノ大企業ヲ公平化スルト云フコトガ主ナル目的デハゴザイマスルケレドモ、進ンデ經營ノ内容ヲバ民主化スルト云フコトモ相當重大ナコトト考ヘテ居リマス、殊ニ是カラノ日本ハ、如何ニ努力ガ日本ノ經濟回復ニ大事ナ要素デアルカト云フコトガ一層明カニナツタト云フコトハ申上ゲルマデモアリマセスガ、燃エ上ル勤勞意欲ヲバ生産ノ面ニハツキリト現ハスト云フコトノ必要ダト云フコトモ申上ゲルマデモアリマセス、併シナガラ現在マデ所謂經營參加ト號シ、所謂經營協議會トカ、或ハ團體協約ナド申シマスモノノ中ニハ、良イモノモ澤山ゴザイマスルケレドモ、唯集合的ノ意欲デ、唯徒ラニ經營者ヲ牽制スルト云フヤウナ傾キノアルモノ、或ハ却テ企業ノ規律ヲ紊ルデ云フヤウナモノ、或ハ勤勞意欲ヲ抑ヘテ、却テ懶惰ノ風ヲ現ハスト云フヤウナ色々ノ弊風モゴザイマス、私ハ此ノ所謂從業者ノ經營參加ト云フ問題ハ、是カラ日本ノ産業ノ執ルベキ一ツノ形態トシマシテ、モツト眞面目ニ如何ナル方法ニ依ツテ之ヲヤルベキカ、殊ニ大事ナコトハ、經營ニ參加スル者ハ、徒ラニ自ラノ權利ノミヲ振廻スノデハイケナイノデアツテ、義務ヲ感じ、責任ヲ感じサセル、サウ云フ一ツノ形態及ビ責任感ヲバ本トシナケレバナラヌト思フノデアリマシテ(拍手)是ガ爲ニハ經濟安定本部ニ於キマシテモ、經濟民主化ノ一ツノ大キナ問題トシテ、所謂企業參加ノ問題ヲバ研究スル積リデ今準備ヲ致シテ居リマス(拍手)

〔國務大臣星島(二郎君登壇)〕
○國務大臣(星島(二郎君登壇)) 加藤君御セノ如ク、日本再建ノ爲ニハ原料ノ輸入ヲ圖リマシテ、之ニ依ツテ工業ヲヤツテ日本ガ食ツテ行ク、是ガ私ハ日本ノ所謂産業立國ノ基本ダト思ヒマス、サウシテ順位カラ致シマシテモ、先般モ此ノ席デ申上ゲタ如ク、先ヅ纖維産業第一、化學工業、ソレカラ輸出物資、斯様順位デ以テ行キマスニモ、纖維ニ致シマシテモ、生絲ノ外ハ殆ド全都ガソレハ輸入デアリマスカラ、其ノ原料ヲ輸入致シマシテ、サウシテ之ヲ加工シテ行ク、斯ウ云フヤウナ建前ニナル譯デアリマスガ、ソレニ付キマシテモ、今同ノ賠償ノアノ線ハマダ確定ハ致シマセスケレドモ、大體ニ於テア、云フ線ガ引カレル所ヲ見マス、相當重工業ト云フ方面ハ數日ニナル、ソコデ主トシテ中小工業ヲヤルノデアリマスルガ、是ハ戰爭抛棄ヲ憲法ニ於テ宣明シテヤツテ行キマス日本ハ、ドウシテモ産業ニ依ツテ此ノ八千萬ノ人口ヲ食ハシテ行クノダト云フコトヲ、率直ニ司令部ノ方ニ懇ヘマスレバ、相當ノ數是ハ輸入シテ貰ヘルト思ヒマスルシ、又今聯合軍ノ方ニ於キマシテモ、日本ガ戰爭ノ目的ノ爲ニスル仕事サヘ變ハシテシマヘバ、産業ノ爲ノ日本ガ食ツテ行ク爲ニヤル仕事ニ付キマシテハ、相當寬大ニ總テノコトガ考ヘテ貰ヘルト思ヒマスルカラ、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、私共ハ率直ニ聯合軍ノ方ニ申出ラ致シマスルシ、又日本ノ貿易ガ平和ニ還リマシタ時ニハ、大イニ其ノ方針ノ下ニヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレニ付キマシテモ御心配ノ如ク、工業ト農業トガ此ノ日本ノ要ハ實ニ巧ク調和ヲ致シマシテ、所謂農村工業、農村ノ中ニ工業ガ鑛バンド、サウシテ互ヒニ相助ケ相補ツテ行ク、調節ヲ巧クヤツテ行キタイ、斯様ニ思ツテ居ル譯デアリマス御尋ネノ終戰當時ノ色々ナ物資――

先般隱匿物資ノ問題ハ此處デ數字ヲ發表致シマシタ、マダアレカラ上ニハ多少アルカモ知レマセスガ、再ビ政府ハ斯様ナ法律ヲ出シテアラ探シマスルト云フヤウナコトハ致シタクアリマセス、併シナガラ終戰直後、特殊物件ヲ致シマシテ大體數字ニ現ハレテ居リマスモノハ、假ニ極ク僅カナモノヲ拾ツテ見マス、鋼材ガ二萬八千「トン」、非鐵金屬ガ二萬五千「トン」、輕金屬ガ五萬一千「トン」、石炭ガ九萬二千「トン」、石油ガ九萬七千「トン」、斯ウ云フ物ガ特殊物件トシテ其ノ當時占領サレテ居ツタノデアリマスルガ、ミナ民需用ニ解放サレマシテ、ソレハノ機關ヲ通シテ是ガ割當テサレテ居ル譯デアリマス、併シ鋼材ノ如キハ、マダ使フ爲ニ仲バス作業ガ全部終ツテ居ナイヤウナ譯デアリマス

其ノ他ノ御尋ネニ付キマシテハ、概ネ諸國務大臣ヨリ御答辯ガアツタノデアリマスガ、民主的ノ産業團體ニ對シマシテハ、割當ト配給ヲヤリマシテ、本案ノ二條ノ三號ト致シマシテハ、主務大臣ト致シマシテハ命令ヲ致ス譯デアリマス、又直接ニ勞働代表ガ、其ノ民主團體トシテ直接ニハ關係致サレマセスケレドモ、其ノ團體ノ中ニハ自然勞働代表ノ意見ガ加ハルコトヲ期待スルモノデアリマス、國家ノ補償問題ニ付キマシテ、失業ノ手當等ガ之ニ加ハツテ計算サルベキコトハ當然ノコトト思ヒマス

〔國務大臣河合良成君登壇〕
○國務大臣(河合良成君) 農村工業ト人口配置ノ問題ニ付テ御尋ネガアリマシタガ、御承知ノ通りニ只今食糧ヲ増産シナクチャナラヌカラ、農村ニ相當澤山ノ勞力ヲ持ツテ行クコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、併シナガラ世界ノ大勢カラ見マシテ、今後世界ノ食糧ノ非常ナ増加ナドガアリマス、ドウシテモ是カラ餘リ關稅ノ障礙ヲ高クスルト云フコトハ、一寸出來ニクイデヤナイカト云フコトデ、農村ノ勞力ガ餘リ懸念ガアルト思ヒマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ農村工業ト云フモノヲ餘程根本的ニ考ヘテ置カナクチャナラナイ、色々ノ方面ニ於テ此ノ國策ヲ準備シテヤツテ置カナケレバナラヌ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ第二ノ問題デアリマスルガ第一條、是ハ經營者ニ對スル補償デアリマシテ、勞働者ニ對スル補償ハ其ノ儘ノ意味ニ於テ入ツテ居ラスノデアリマス、併シナガラ是ハ經營者ト勞働者トノ間ニ解決スベキ問題デアリマス、併シ政府ノ勞働政策トシマシテハ、斯ウ云フ面ニ對シテドウ云フ風ニ勞働ヲ解決スルカ、或ハ失業手當ガ正當ニ行ツテ居ルカト云フコトニ付テハ、常ニ監視ノ眼ヲ以テ見ナクチャナラヌト思フ、又是ガ社會問題化スルヤウナ、大キナ勞働ノ移動トカ失業トカ云フ問題ガ起ツテ來レバ、ソレニ對スル適當ノ方法ヲ執ラナケレバナラヌト思ツテ居リマス

ソレカラ最後ノ御尋ネモ經濟ノ民主化ト云フ問題デアリマスルガ、是ハ言フマデモナク勤勞、勞働ト云フコトヲ昂揚スルト云フコトガ非常ニ重大ナ點ダト思ツテ居リマス、併シ大體此ノ民主化ト云フコトハ餘リ固苦シク考ヘマセスデ、例ヘバ健全ナ社會化モ一ツノ民主化デアアル、階級闘爭ヲ避ケテ協同精神ヲ進ムノモ一ツノ民主化デアアル、財產權不可侵ノ原則ノ下ニ契約ノ自由ノ尊重シテ、個人的ノ「イニシア

「テイヴ」ヲ伸バシテ行クノモノ
民主化デアル、ソレデ大體ニ於テ國民
全體ガ不自然ナ拘束ヲ免レテ、伸ビ
トシテ愉快ナ氣持ヲ産業ヲヤツテ行ク
ノガ、是ガ一等ノ民主化デアル、斯ウ
考ヘテ居リマス

〔國務大臣大村清一君登壇〕

○國務大臣(大村清一君) 政府ハ近ク
國土計畫審議會ヲ設ケマシテ、衆智ヲ
集メテ民主的ナル國土計畫ノ策定ヲ致
スベク、目下著々準備ヲ進メテ居ル次
第デアリマス、而シテ此ノ國土計畫ノ
内容ト致シマシテハ、農村工業ノ振興
ニ關シマシテモ、適切ナル計畫ヲ織込
マナケレバナラヌト思ヒマス、又國土
計畫ノ一部ト致シマシテ、適切ナル計
畫ヲ織込マレバコトヲ期待致シテ居ル
次第デアリマス

〔政府委員大石倫治君登壇〕

○政府委員(大石倫治君) 加藤君ノ御
質問ノ農村工業ノ關係、食糧供給ノ關
係ニ付テ、農林大臣ガ出席致シ兼ネマ
スノデ、私ヨリ御答ヘテ致シタイト存
ジマス

御質問ノ如キ我が國ノ食糧ノ自給目
足ハ最モ好マシイコトデアリマシテ、
是ガ爲ニハ總テノ計畫ヲ集中シテ其ノ
實現ヲ期サネバナラヌデアリマス、
又農村經濟ヲ安定致シマシテ、農村ノ
基礎ヲ確立致シマスルコトハ、隨テ食
糧ノ生産、食糧自給自足ノ基本トモ
ナルノデアリマスルカラ、是等ニ對シ
マシテモ十分ナル方途ヲ講ゼネバナラ
ヌデアリマス、戰爭前ニ於キマシテ
ハ、農村ニ於ケル工業ト致シマシテ二通
リノモノガ獎勵サレ、一時普及ノ途ヲ
辿ツタデアリマス、例ヘバ純工業的
ノ下請工場デアルトカ、部分品製造ニ
關係ノアルト云フヤウナ工業部面ノ獎

勵發達デアリ、一面ハ農村ニ於ケル生
產物加工ニ關スル獎勵普及デゴザイマ
ス、例ヘバ綿羊毛飼育シ、其ノ毛ヲ以
テ「ホームスパン」ヲ生産スルト云フヤ
ウナ工業モ相當普及致シタルデアリマ
シタガ、戰爭以來今日ハ殆ト是等ノモ
ノハ荒廢セラレマシテ、農村工業トシ
テ今日見ルベキモノノナイノハ甚ダ遺
憾トシタル所デゴザイマス、政府ニ於キ
マシテハ、此ノ農村經濟安定ノ一面カ
ラ申シマシテモ、又工業ノ都市偏重ノ
調和カラ致シマシテモ、ヤハリ農村ニ
於ケル工業ヲ大ニ獎勵普及致スベキ
必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、ケレド
モ、未ダ其ノ具體的ナル方策、具體的
ナル方針ハ決定ヲ致シテ居リマセヌ、
要スルニ農村ニ於キマシテハ過剩努力
ヲ極度ニ活用スルノ方法、又農閑期ニ
於ケル所ノ利用、是等ノモノヲ以テ農
業ト工業トノ調和ヲ圖ルヤウナ計畫ヲ
樹テタイト存ジテ居リマス、隨テ其ノ
獎勵ノ方途モ、ヤハリ生産物ノ加工工
業、又資材ノ配給運搬、生産製品ノ搬
出等、運輸交通ノ關係ト、生産費ノ關
係、或ハ工場施設ノ關係、斯ウ云フ幾多
ノ方面カラ之ヲ調査研究致シマシテ、
將來御趣旨ニ副フヤウナ農村工業ヲ普
及致シタイト思フノデアリマス、併シ
ナガラ我が國ニハ耕地ト云フモノニ制
限ガゴザイマシテ、食糧ノ自給自足ヲ
致スト云フコトハ、此ノ面ニ全力ヲ舉
ゲナケレバ容易ニ其ノ目的ヲ達成スル
コトガ出来マセヌノデ、隨テ農村ニ於
ケル工業ノ獎勵ノ限度範圍モ、ソレヲ
忘レテハナラナイデアラウト云フ建前
ヲ以テ、此ノ計畫ヲ實現致シタイト調
査ヲ進メテ居ル次第デアリマス

顯ヒマス

○議長(山崎猛君) 許シマス

○加藤謙造君 議院國務大臣ヲ初メ各
大臣ノ御答辯ハ、甚ダ意ニ滿タナイモノ
ガアリマス、尙ホ仰シヤルコトノ能ク
分ラナイ點モアリマス、更ニ質問ニ對
スル答辯ノ落チテ居ル點モアリマシタ
ガ、アトハ委員會ニ譲リマシテ、私ノ
質問ハ之ヲ以テ打切りマス

○議長(山崎猛君) 石原登君

○石原登君 石原主トシテ總理大臣ニ
御尋ね致シタイデアリマスガ、只今
御出席ガゴザイマセヌノデ、適當ナ大
臣カラ御答辯ヲ戴キタイト思フノデア
リマス

敗戦後ノ國情ニ見マシテモ、只今議
題ニナリマシタ臨時物資供給調整法案
ノ立法並ニ經濟安定本部ノ設置ハ當然
デアリマシテ、私ハ此ノ趣旨ニ對シマ
シテハ滿腔ノ賛意ヲ表スルモノデアリ
マス、併シナガラ此ノコトヲ今日一般
國民ガ常識ヲ考ヘルマデ、政府ガ何等
ノ策モナサヌデ放置セラレテ居タト云
フコトヲ極メテ遺憾ニ思フモノデアリ
マス、而モ此ノコトハ政府自體ノ案デ
ハナクテ、聯合軍司令部ノ態度ニ依ッ
テナサレタト云フニ至ツテハ、洵ニ言
語道斷、政府ノ怠慢ハ十分ニ責メラ
ルベキモノデアルト思フモノデアリマ
ス、今日ノ日本ノ政府ガ何事モ自分達
デソレヲ決メルコトノ出来ナイト云フ
モノモアリマセウ、併シナガラ一カラ
十マデ總テ司令部ニ依存スルト云フヤ
ウナ今日ノ態度ハ、丁度日本ノ政治デ
ハナクテ、何カ「アメリカ」ニ委託シタ
政治ノ感ヲ私ハ持ツモノデアリマス、
先ヅ政府ハ速カニ自主性ニ立ツテ、率
先再建日本ニ先驅スルノ決意ヲ全國民

ニ明カニサレシコトヲ要求スルモノデ
アリマス、私ハ、本法案ガ僅カ六箇條
ノ構成デハアリマスルガ、嘗テノ總動
員法ニモ比肩スベキ重大ナル委任立法
デアリマスガ故ニ、本法案ノ趣旨ガ十
二分ニ徹底サレマシテ、間違ツテモ從
來ノ官僚統制ノ前轍ヲ履ムコトナク、
一日モ早ク今日困ツテ居リマスル所ノ
國民ガ救ヒ上ゲテレルヤウニ希望致シ
マシテ、以下數點ノ質疑ヲ致サントス
ルモノデアリマス

第一點ハ、今日ノ國政ヲ施行スルニ

當リマシテ、政府ハ如何ナル基本精神
ヲ以テ臨ンデオイデニナルカト云フコ
トデアリマス、八千萬國民ハ國家ノ興
隆ト民族ノ福祉ヲ衷心ヨリ希望致シ
居リマス、是ガ故ニ政府ニ對シマシテ
絶大ナル權限ヲ附與致シマシテ、其ノ
生命財產ヲ舉ゲテ御預ケシテ居ルノデ
アリマス、此ノ國民ノ信頼ニ對シマシ
テハ、當然政府ハ其ノ施政ニ付テハ命
懸ケデナクテハナラナイト私ハ思フモ
ノデアリマス、而シテ之ニ依ツテ生ジ
マシタ責任ハ十二分ニ執ラレナクテハ
ナラヌコトハ申スマデモナイノデアリ
マス、併シナガラ最近ノ日本ノ政治ハ
軍國主義的方向ヘ誤リ導カレマシテ、
國民ハ史上曾テナイ屈辱ト慘憺タル境
遇ニ轉落セシメラレテ居ルノデアリマ
ス、此ノ痛苦ハ敗戰國民トシテ當然甘
受スベキ國民の運命デアリマセウ
ガ、大體政府ノ責任ハドウナルデアリ
マセウカ、國策ニ協力セシメラレテ國
民ノ被リマシタ損害ニ對シテ、政府ガ
責任ヲ負フハ當然デアリ、可能ナル限
リ誠意ヲ以テ當ラナクテハナラナイノ
デアリマス、此ノ保障ノナイ限り、今
後國民ハ眞ニ安心シテ政府ノ施設ニ協
力スルコトハ私ハ出来ナイノデアルト

思フノデアリマス(拍手)政府ハ戰時中
國體維持ノ名ノ下ニ、數々ノ術策ヲ弄
シテ、幾多有爲ナル青年ヲ徒死セシメ
タデアリマス、其ノ結果ハ、今日餘
リニモ多クノ悲慘ナ遺家族ト、餘リニ
モ多クノ可哀想ナ戰災者達ガ、アチヲ
コチヲ泣イテ居ルノデアリマス、然
ルニ政府ハ誠意ヲ以テ之ヲ救済シナイ
ノミカ、一部ノ社會的現象ヲ見マシ
テ、復員軍人ナドヲ痛罵スルガ如キ
ハ、斷ジテ私ノ許サナイ所デアリマ
ス、而モ一方デハ國內治安維持ノ窮餘
策ト致シマシテ、警察官ヲ治安第一線
ノ勇士ト尊重シ、殉職ニ對シテハ十萬
圓ノ弔慰金、異例ノ昇進ヲ發令スルナ
ド、丁度戰時中ニ執リマシタ軍閥政府
ノソレトツトモ變ラナイノデアリマ
ス、斯カル御利用主義、御都合主義ノ
政治ハ、道義的ニモ許サレバコトデハ
ナク、況シテ國家悠久ノ策ト致シマシ
テハ、絶對ニ執ラレバキ手段デハナイ
ト確信スルモノデアリマス、政府ハ深
ク反省サレマシテ、此ノ御利用主義、
御都合主義ヲ排シ、全國民ノ納得ト理
解ニ依リマシテ國民總力ヲ結集シ、日
本再建ニ當ルベキ道ヲ思ヒマスルガ、
果シテ政府ニ斯カル誠意ト勇氣ガアリ
マスカ、總理大臣ニ承リタイノデアリ
マス

第二點ハ日本ノ現狀ニ對スル認識ニ

付テ伺ヒタイノデアリマス、日本ノ再
建方策ハ、勿論嚴肅ナル事實ノ認識ノ
上ニ檢討サレネバナラヌコトハ申スマ
デモアリマセヌ、果シテ政府ニ此ノ眞
ノ認識ガアルカドウカ私ハ疑フモノデ
アリマス、此ノ眞ノ認識ガナイ限り日
本ノ再建ハ期セラレマセヌ、私ガ斯カ
ル質問ヲ致シマスル理由ハ、政府ガ輿
論ノ反對ヲ押切ツテ鐵道運賃並ニ通信

費ノ大幅ノ値上ヲ斷行シ、其ノ收益金ハソレノ職員ノ待遇改善費ニ充當スルノ外、本年度豫算ヲ見マシテ顯著ナノハ、驚クベキ人件費ノ増額デアリマス、今日ノ物價高デハ待遇ノ改善モ必要デアリマセウガ、先ヅ政府モ國民モ、今日ノ日本ガ如何ナル實情ニアルカト云フコトヲ深く考ヘネバナラヌト思フデアリマス、今日ノ生活苦ハ單リ官廳從業員ノミデハナク、全日本人ノ深刻ナル問題デアリマス、最近起ツタ引揚民ノ學校占領問題、例ヘバ貧シクトモ毎日働ケル人達ヲ羨望シテ居リマス、數百萬ノ失業ノ切實ナル心情ヲ思ヒマスナラバ、國家ハ先ヅ斯カル人達ノ救済コソ早急ニ講ゼラルベキモノダト思フデアリマス、斯カル際ニ於キマシテ、政府ガ斯カル人達ニ先ンジテ、而モ一般國民ノ犧牲ニ於テ、役人や官業從業員ノ待遇改善ヲ第一番ニ取上ゲラレト云フコトハ、私ノ最モ諒解ニ苦シム所デアリマス、一體負ケテ破産シマシタ日本ノ何處ニ是等ノ要求ニ應ズルモノガアリマセウカ、民政維新ノ今日、尙ホ所管ノ事務ニ重點ヲ置キ、下僚ノ要求ハ何デモ取上ゲテ、閣議ヲ押切コトガ大臣ノ政治的手腕トデモ思フテ居ルノデハナイカ、指導者ノ認識不足ニ、今日ノ不愉快ナル官業勞働者ノ餘リニモ逸脱シタ行動ノ存スル所以ガアルト思フデアリマス、敢テ鐵道大臣ノ御所見ヲ求メルモノデアリマス、現下ノ政治ノ要諦ハ、理窟抜キニ、如何ニ苦シクトモ、如何ニ辛クトモ、徹底シタ同胞相愛ノ精神、勤勞ト克己ト犧牲ト努力ヲ、政府役人自ラガ身ヲ以テ國民ニ示サルベキダト思フデアリマスガ、政府ハ戰後ノ斯カル狀況ニ於テ、此ノ精神ト努力ヲ如何ナ

ル部面ニ如何ニ反映サレテ居タノデアリマスルカ、今後如何ニ反映セシメントセラレルノデアリマスカ、國務大臣ノ御尋ネテ致シタイノデアリマス、總理大臣ニ率直ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、世界ノ強國トシテ國勢隆盛タル時ノ日本ノ官廳機構ト、敗戦日本ノソレト同一デ宜シイノカ、詰リ事業ニ失敗シマシタ破壊者ガ、從前通り書生ヤ女中ヲ使ツテ行ケルノカドウカ、此ノ上役所ヲ殖サウナンテ、政府ハ戰前ノ感覺デ今日ノ政治ヲ見テ居ラレルノデハナイカト疑フモノデアリマス、此ノ點ハ日本再建ノ基本條件トシテ最モ重大デアリマス(簡單々々)ト呼ブ者アリ)特ニ責任アル答辯ヲ要求スルモノデアリマス

御伺ヒ致シタイ第三點ハ、經濟安定本部ノ構成ニ付デアリマス、五月十七日ノ聯合軍司令部涉外局ノ發表ニ依ルマデモナク、本法ニ依ル物資ノ需給統制ハ、是マデノ官僚獨統制ノ全面の否定デアアルコトハ言フマデモアリマヒス、先ヅ官僚諸君ハ、此ノ點ヲ本當ニ、理窟デナシニ二分ニ認識サルベキデアリマス、今日政府ノ施政ニ對シテ一般國民ガ熱誠ト期待ヲ持タヌ所以ハ、是マデノ官僚政治ノ所謂獨善ニ基因スルモノデアアルノデアリマス、即チ「デスク・プラン」的ノモノヲ廢シテ、眞ニ國民ガ救ハレル方向ニ向ツテヤツテ戴キタイノデアリマス、斯カル意味ニ於キマシテ經濟安定本部ノ構成ハ特別ノ考慮ガ拂ハレ、此ノ國民の不信ノ是正ニ付キ十二分ノ努力ガ拂ハレネバナラスノデアリマス、即チ民主主義ノ下ニ於ケル計畫經濟ノ指導的責任者ハ役人デハナクテ、國民代表デアアル所ノ議會政治家デナクテハナラナイノデアリマス、斯カル意味デ私ノ希望ヲ率直ニ申上ゲルナラバ、經濟安定本部ノ構成員ハ議會人ヲ中心ト致シマシテ、國民ノ利益ヲ眞ニ代表スルソレハ、實務者、之ニ若干ノ事務官僚ヲ配シテ、今度コソハ一ツ民間人ノ手並ヲ官僚諸君ニ示シタカツタノデアリマス(ヒヤ)然レバ政府發表ニ依リマス、本機關ノ構成員タル國民代表ハ、僅カ三名ノ議員ノ參加ヲ見タノミデアリマス、此ノ僅少ナル議會人ヲ通ジ、民主主義ノ絕對的要請デアリマス所ノ一般國民ノ總意ヲ、如何ニ探入レヨウトサレルノデアリマスカ、國務大臣ノ御答辯ヲ望ムモノデアリマス(拍手)此ノ際申上ゲタイコトハ、民主主義ノ假面ノ下ニ、政府官僚ガ中心トナリ、之ニ一脈相通ズル特別ノ利害關係ヲ有スル統制團體ガ民主主義團體ト稱シテ、官僚主義ノ溫存ヲ圖ラントスルコトハ、絕對ニ許サレナイコトデアリマス(拍手)

尙ホ此ノ機會ニ希望シテ置キタイコトハ、今後ノ民間人事ノ交流、敢テ官民デハナイ、民間人事ノ交流ハ、從來ノヤウナ古手官僚ノ重役ヤ社長ヘノ天降リヤ、民間「エキスパート」ノ生殺シの政府機關ヘノ一部參加デハナク、寧ロ今後日本ヲ背負ツテ立ツベキ青年社員、青年官吏ノ大量交流ニ依リマシテ、相互理解ノ念ヲ深カラシメ、民間協同ノ最モ有力ナル契機ガリニマデ發展セシメタイト思フデアリマス、是ガ爲ニ現在ノ官吏任用制度ノ撤廢等モ考慮セラレネバナラスノデアリマスガ、政府ニ斯カル御意思アリヤ否ヤ、總理大臣ノ御答辯ヲ承リタイノデアリマス

第四點ハ經濟安定本部ノ運営ニ付デアリマス、經濟安定本部ノ運営ニ付テハ、聯合軍ノ協力ガ得ラレコトハ洵ニ喜バシイコトデアリマスガ、是ガ成功ハ、是マデノ日本ノ過去ヲ顧ミマシテ樂觀ガ許サレナイノデアリマス、特ニ下部組織ヲ持ツテ居ナイ經濟安定本部ガ諸政策ヲ策定實施スルニ當ツテハ、當然各省ノ資料ニ依存シ、或ハ其ノ機關ヲ通ジテ行ハレルコトナリ、斯クノ如クデハ到底官僚主義ノ弊ヲ打破スルコトハ出来ナイノデアリマス、經濟安定本部ノ基本構想ニ於テモ、昨日カ本日ノ新聞ニ見マシテモ、新米價價格決定ニ端ヲ發シテ、閑内ノ意見ノ對立ヲ惹起シ、今日ノ閣議ニ於テ更ニ本格的討議ヲ行ハレル旨ガ報セラレテ居ルノデアリマスガ、既ニ斯クノ通り、是マデ割據ノ弊風アル各省トノ微妙ナル關係ヲ如何ニ調整サレントスルノデアリマスカ、肥料問題ヲ繞ル商工、農林兩省ノ對立ノ表面化ナド、其ノ運営ニハ將來幾多ノ困難ガ豫想サレテ居ルノデアリマスガ、政府ハ此ノ點ニ付キ如何ナル用意ト決意ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、國務大臣ノ御答辯ヲ求ムモノデアリマス

第五點ハ、綜合計畫廳ヲ經濟安定本部ト物價廳ノ兩建ニ致シタ理由デアリマス、政府ハ戰時中官僚ノ計畫ニ基キ、遂ニ日本ヲ今日ノ悲劇ニ導イタノデアリマス、今デモ然リデス、今デモ官僚ノ頭ノ中ニ、戰時中ノ物動、殊ニ物價政策ヲ重要視シタ偏見ガ拔ケ切ツテ居ナイノデハナイカト思フモノデアリマス、不適當デモアリ、且又不可能デモアル全商品ノ公定價格ノ體系ヲ依然トシテ維持構成スル線ニ沿ツテ、物價政策ヲ構想ガサレテ居ルノデハナイカ、物價政策ハ、公定價格ニ依ル價格體系ヲ改メテ、生産ノ增強

ト、他方餘剩購買力ノ調整、政府支出、銀行貸出ノ選擇制限等ニ依リマシテ、價格水準ノ操作ニ改訂セラルベキデアルト思フデアリマス、經濟再建計畫ノ策定實施ニ當ツテ不可分一體ニアル計畫政策ト物價政策ヲ、ハ經濟安定本部ニ、ハ物價廳ニ、ソレハ兩建トシタ理由ハドウデアリマスカ、國務大臣ノ御答辯ヲ求ムモノデアリマス

御尋ネ致シタイ思フ第六點ハ、本法運営ニ付政治的責任ニ付デアリマス、經濟安定本部ノ總裁ハ長官ハ、ソレハ總理、國務大臣ガ當ラレルノデアリマス、故ニ内閣ノ更迭ニ依リ、政策ノ一貫性ガ期セラレナイノデハナイカト憂慮スルモノデアリマス、政策ノ全部ガ經濟ニ繫ガル以上、同時ニ政黨ノ經濟政策ガ經濟安定本部ニ大キク影響スルコトハ當然デアリマセウ、カト云ツテ統制計畫ノ恆久化ヲ圖ル爲ニ、個々ノ内閣ノ運命ニ拘ハラズ、經濟安定本部ガ獨自ノ官僚統制の經濟計畫ヲ樹立シ、實施シマスナラバ、政治的立憲的責任ノ所在ガ不明化スルバカリデナク、ソレハ經濟政策ヲ持ツ政黨政治ヲ妨害シ、再ビ官僚政治ノ本據ト化スル危險ガ生ズルノデアリマス、斯カル意味ニ於テモ、内閣ハ經濟安定會議ヲ通ジ議會ト國民ニ對シ責任ヲ負ヒ、其ノ人事モ政策モ最後ノ決定權ハ議會ニアルト云フ、民主主義ノ原則ニ立タネバナラスト思フモノデアリマスルカ、政府ハ如何ニ御考ヘデアリタイノデアリマス

最後ニ今一ツ農林大臣ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、目下ノ食糧難ニ鑑ミマシテ、是ガ増産ノ爲メ開墾、開拓

ニ努力セラル、コトハ私共モ能ク了解スル所デアリマスガ、最近デハ失業率ノ歸農ヘノ増加モ拍車ヲ掛ケマシテ、今後ノ農家經濟ノ大恐慌ヲ招來スルデアラウコトガ想像サレルノデアリマシテ、特ニ講和條約締結後ニ於キマシテ、貿易再建ニ依リ、外國食糧ノ國內輸入ハ當然實現スベク、農産物價格ノ暴落ニ依リテ農家經濟ノ維持ハ不可能ニナルノデハナイカ、此ノ場合現在著シク對立惡化シテ居リマス所ノ都市、農村ノ關係ニ於テ、將來ノ農村救済ニ對スル萬全ナル方策ヲ講ゼラレテアルカドウカ、一部惡農ノ言動ニ禍ヒサレテ、多クノ善良ナル農民ガ誤解サレテ居ルモノデアルト私ハ思フ、是等農民ハ勿論ノコト、平和日本ノ將來ニ對シ大イナル憂慮ヲ感ズルモノデアリマス、此ノ點ニ付キ農林大臣ハ如何ナル處置ヲ執ラレテ、アルカ、如何ナル保障ノ用意ヲ有セラル、カ、明確ナク、責任アル御答辯ヲ戴キタイノデアリマス

以上ヲ以テ私ノ質疑ハ終了致シタノデアリマスルガ、最後ニ今一ツ憂國ノ赤誠ヲ披瀝シテ、總理大臣以下全閣僚並ニ全政府機關ノ各位ニ對シテ其ノ奮起ヲ切望スルモノデアリマス、私が最モ尊敬スル先輩政治家ガ、國ハ敗戦ニ於テ滅ビズ、經濟ノ貧困ニ依リテ滅ビル、指導者ハ自信ヲ失ヒ、國民ガ其ノ歸趨ニ迷フ時、國ハ滅ビルノデアルト言フテ居ル、監シ至言デアリマス、深刻ナル敗戦ノ痛苦ト經濟不安ノ裡ニ、辛ウジテ耐ヘ忍ンデ居ル國民ヲ眼前ニシテ、アナタ方ハ確乎タル救國ノ大方針ガオアリデアリマス、本當ニ救民ノ自信ヲ御持チニナリマスルカ、國民ハ既ニ歸趨ニ迷フテ居リマスコトヲ大キク叫ビタイノデアリマス、之ヲ

以テ私ノ質問ヲ終リマス(拍手)

〔國務大臣(膳桂之助君) 御答(ベ)申上ゲマス、經濟安定本部ノ機構ヲバ議會中心トシテ、之ニ若干ノ事務的人員ヲ付シテ、事ノ大小ヲ其處ニ於テ決定スルヤウナ機構ニシテハドウカ、斯ウ云フ御尋ねデアリマシタ、サウ云フ御構想モアラウト存ジマスガ、現在立法府ト行政機構ガ左様ナクニナツテ宜シイモノカドウカ、是ハ研究問題デアラウト思ヒマスガ、政府ハ左様ナ方法ハ執ツテ居リマセヌノデ、別ニ從來アリマシル、今マデ私ガ説明申上ゲマシタヤウナ機構ヲ採ツテ居ル次第デアリマス、尙ホ是ハ私ノ答辯スル限りノモノデモナイカト存ジマス

又其ノ次ニ各省ト經濟安定本部ノ關係如何、内閣ノ運命ト經濟安定本部トノ關係如何ト云フヤウナ意味合ノ御尋ねガゴザイマシタガ、經濟安定本部ト各省ノ施設ガ區々ニナラナイヤウニ、之ヲ統一的一綜合的ナ性質ヲ與ヘルト云フコトガ一ツノ職務ニナツテ居リマス、又各省ニ共通ノ經濟安定ノ根本方策ヲ立テルコトガ、又積極的ノ一ツノ任務トナツテ居リマシテ、各省トノ關係ハ、經濟安定本部ノ總裁デアリマス總理大臣ガ、各省ニ必要ト認メル事項ヲ指揮命令スルコトガ出來ルノデアリマシテ、經濟安定會議ニ依ツテ定マリマシタ事項ハ、當然之ヲ各省ニ命ジ得ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス

又内閣ト經濟安定本部トノ關係デアリマスルガ、一ツノ政治的工作トシテハ、考案トシテハ、經濟安定本部ハ内閣ノ更迭ニ關係ナキモノデアリタイト云フ希望の意見ガゴザイマスコトハ事實デアリマスルガ、之ヲ如何ニ取扱ヒマ

スルカト云フコトハ、要スルニ帝國憲法ヲ解釋カラ出ル問題デアリマシテ、其ノ希望ガ實現スルヤ否ヤハ、實際ノ問題トシテ、其ノ場ニ於テ考究スルヨリ外ハナイモノト存ジマス

物價應付ト關係ニ付キマシテハ、物價應付ト安定本部ガ何故別ノモノニナツタカ、是ハ色々ノ考ヘモゴザイマス、物價應付ノ出來マシタル前ニ、物價應付ト安定本部ノ一部局タルベシト云フ意見モゴザイマシタ、物價ノ安定ハ要スルニ經濟安定ノ根本デアリ、又經濟安定ノ方策トシテ、其ノ一部分ヲ擔フモノデアアル關係カラ申シマスルト、是ハ一體ニシテ不可分ノモノデアルトハ當然デアリマス、併シナガラ安定本部ノ性格ハ飽クマデモ實行應付デナクシテ、企業應付デアリタイト云フ考ヘ、物價應付ハ、定メマシタ物價政策ヲバ、地方地方ノ隅々マデ之ヲ實行スル、實施ノ機關デアリマス、隨テ現在構想ニ於キマシテハ、經濟安定本部ニ第五部ト云フ部ヲ置キマシテ、此ノ第五部ノ職員ハ物價應付ノ職員ガ之ヲ兼任致シマス、斯様ナコトト、安定本部ノ長官ガ物價應付ノ長官ヲ兼任スルコトニ依リマシテ、此ノ連絡ハ保ツテ居リマスルガ、官廳ノ性格トシテハ飽クマデモ安定本部ハ計畫ノ應デアリ、物價應付ハ實施ノ應デアリ、斯様ハ見解カラ、此ノモノヲバ二ツニ分ケテ居ル次第デゴザイマス

〔國務大臣(星島二郎君登壇) 石原君ノ前段ノ御質疑ハ大體ニ於テ綜合シテ考ヘマス、二、兎ニ角物資ノ需給調整ハ物ノ面バカリデナシニ、日本ノ再建ハ精神の大作業ガ要リハセヌカ、斯ウ私ハ總テヲ綜合シテ拜聴致シマシタ、其ノ

通りデアリマシテ、日本ノ再建ノ鍵ハ、本當ニ道義ノ廢煩カラ起チ上ツテ、敗ケタノダガ起チ上ルノダト云フ歸趨ニ燃エテ、今後ニ處シテ行キタイト考ヘテ居リマス

〔政府委員(大石倫治君登壇) 只今ノ石原君カラノ御質問ハ、御趣旨ハハッキリト私聽キ兼ネタノデアリマスガ、大體輸入食糧ノ過剩ニナツタ場合ニ於テ、農村ガ疲弊ニ傾ク處ガアル、ソレニ對スル對策ヲドウ考ヘルカト云フ御説ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、現在ノ食糧管理法ハ、御承知ノ如ク戰時中ニ制定サレタ法律デアリマスケレドモ、平戰兩時ニ用ユル所ノ恆久的法律デゴザイマシテ、生産費ヲ「カバ」スルト云フ所ニ重點ガアルノデアリマスシカラ、今後食糧過多ノ場合ガアリマシテモ、農村ノ收入ニ對シマシテハ保障付ケラレテ居ルモノデアリマス、又相當ノ超過ガアリマシテモ、全國ニ設置セラレテ居リマス米穀倉庫、農業倉庫等ヲ十分ニ利用致シマシテ、相當ニ貯蓄ヲ致ス、サウ云フモノニ於キマシテ供出ヲ致スト云フヤウナ立テ方ヲ致シタイト思フノデアリマス、尙ホ輸入ニ對シマシテモ、之ニ代替品ガナケレバサウ無限ニ輸入致スコトハ出來ナイノデアリマスルカラ、日本ノ生産原料ニ於キマシテハ、サウ御心配ニナルヤウナ農村ノ疲弊ハ近キ來ルモノト考ヘラレナイノデアリマスルケレドモ、ソレニ對シテハ右様ノ對策ヲ持チタイト存ズルノデアリマス

○石原登壇 運輸大臣ノ答辯ヲ要求シマス

〔國務大臣(平塚常次郎君登壇) 鐵道運

賃ノ値上ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、國有鐵道ハ獨立會計ニナツテ居リマシテ非常ニ大キナ損失ガ起キテ居リマス、運賃ノ上ゲルコトハ好マシクナイノデアリマスルケレドモ、上ゲル以外ニ方法ガナイコトニナツテ居ルノデアリマス、以上御答ヘ致シマス

○石原登壇 答辯ハ非常ニ不満足デアリマスガ、アトハ委員會デ御伺ヒスルコトニ致シマシテ、之ヲ以テ質疑ヲ打ちリマス

○山口喜久一郎君 本案ニ對スル殘餘ノ質疑ハ他ノ日程ト共ニ延期シ、明日日定刻ヨリ特ニ本會議ヲ開キ、之ヲ繼續スルコトトシ、本日ハ是ニテ散會セラレシコトヲ望ミマス

○議長(山崎猛君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(山崎猛君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後四時五十一分散會

定價 一部 七十錢

發行所

東京都牛込區市ヶ谷本村町
電話九段五三一〇
振替東京一九〇〇圖書課
印刷局